

第5章 知的障害者生活状況調査（18歳以上）結果

第5章 知的障害者生活状況調査（18歳以上）結果

1. 基本的事項

(1) 年齢

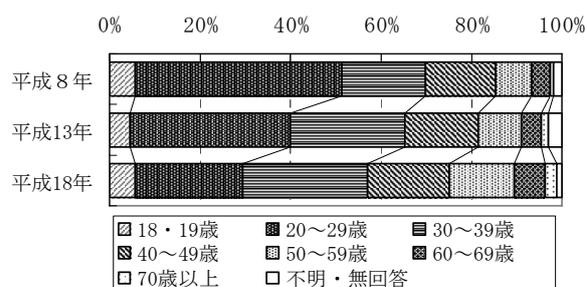
問1 あなたの年齢は満何歳ですか。

- ・ 今回調査では、「30～39歳」が27.2%と最も多く、次いで「20～29歳」の23.8%、「40～49歳」が18.5%と続いている。65歳以上の高齢者の割合は5.8%となっている。
- ・ 前回調査と比較して、「20～29歳」の比率が11.8ポイント減少し、「30～59歳」の比率が9ポイント上昇している。また、「60歳以上」の比率は9.6%に達しており、高齢化の傾向がある。

問1 年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年
18・19歳	5.7	4.5	5.8
20～29歳	45.6	35.6	23.8
30～39歳	18.6	25.2	27.2
40～49歳	15.2	16.3	18.5
50～59歳	8.0	9.3	14.1
60～64歳	4.3	2.9	3.8
65～69歳		1.6	2.9
70歳以上	0.6	1.5	2.9
不明・無回答	1.9	3.2	1.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



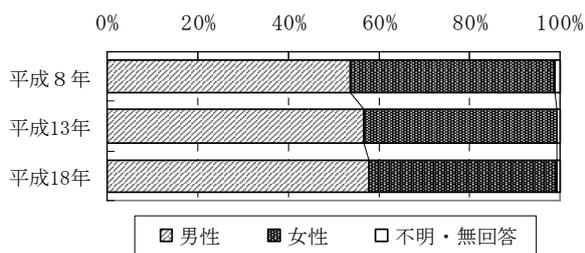
(2) 性別

問2 あなたの性別をお答えください。

- ・ 今回調査では、「男性」が57.9%、「女性」が41.4%となっており、「男性」の比率が高くなっている。
- ・ 経年的には、大きな変化は見られない。

問2 性別

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
男性	53.6	56.6	57.9
女性	45.2	42.8	41.4
不明・無回答	1.1	0.7	0.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



(3) 配偶者の状況

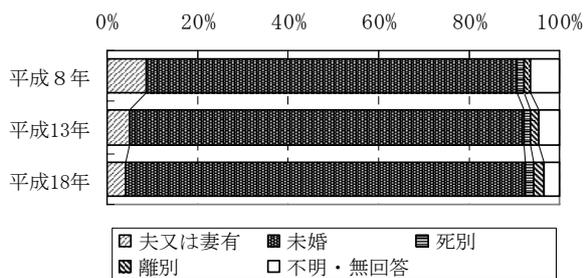
問3 あなたの夫又は妻の有無等についてお答えください。

- ・ 今回調査では、「夫又は妻有」が4.3%、「未婚」が88.2%となっている。
- ・ 経年的には、「未婚」の比率が増加傾向にある。

問3 配偶者の状況

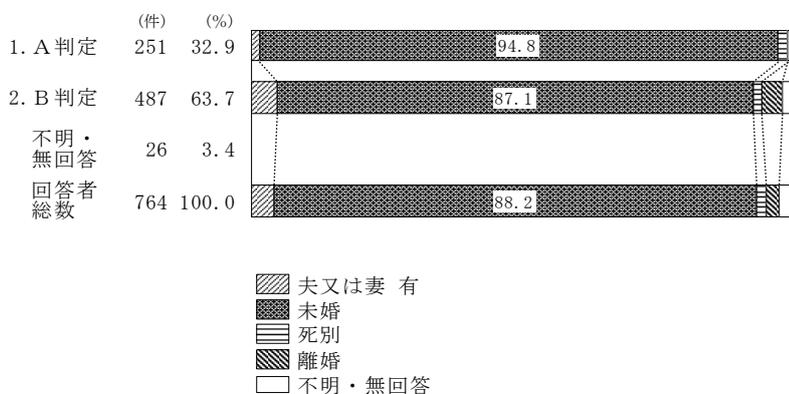
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
夫又は妻有	8.5	5.0	4.3
未婚	81.9	86.9	88.2
死別	1.7	1.5	1.7
離婚	1.4	2.1	2.5
不明・無回答	6.5	4.5	3.3
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「未婚」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問3 配偶者の状況



(4) 世帯の人数

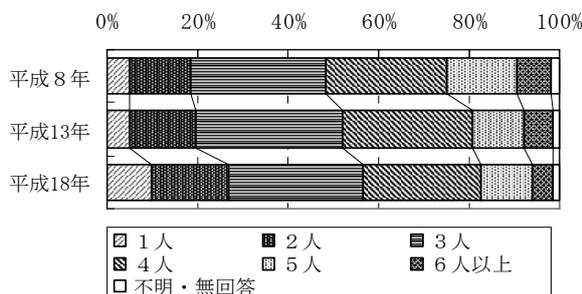
問4 あなたのご家族の人数は何人ですか。あなたも含めてお答えください。

- ・ 「1人」の単身世帯が9.9%、「2人」が17.0%、「3人」が29.7%、「4人」が25.8%、「5人」が11.5%となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「1人」の単身世帯や「2人」の比率が増加し、「3人」や「4人」の比率が低下するなど、家族の小規模化が進んでいる状況がうかがえる。

問4 世帯の人数

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
1人	4.8	4.8	9.9
2人	13.6	14.7	17.0
3人	30.1	32.6	29.7
4人	26.8	28.9	25.8
5人	15.3	11.0	11.5
6人以上	7.8	6.6	4.5
不明・無回答	1.7	1.5	1.6
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



(5) 世帯の生計中心者

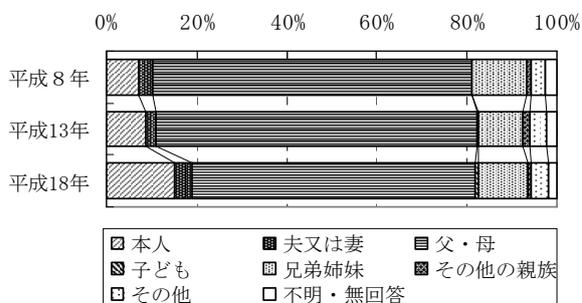
問5 あなたのご家庭で主に家計を支えている方（生計中心者）はどなたですか。あなたからの続柄で1つお答えください。

- ・ 今回調査では、「父・母」が63.0%と最も多くなっている。
- ・ 前回調査と比較して、「本人」の比率が増加し、「父・母」の比率が減少している。

問5 世帯の生計中心者

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
本人	7.3	8.7	15.2
夫又は妻	2.8	2.1	3.7
父・母*1	71.0	71.3	63.0
子ども	0.1	0.3	0.7
兄弟姉妹	11.8	9.8	11.1
その他の親族*2	1.5	1.7	0.9
その他	2.7	3.7	3.5
不明・無回答	2.8	2.3	2.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



*1 平成18年以外は「父」「母」を足した数値
 *2 平成18年以外は「祖父母」と「その他の親族」を足した数値

2. 障害の種類・程度・内容

(1) 療育手帳の判定

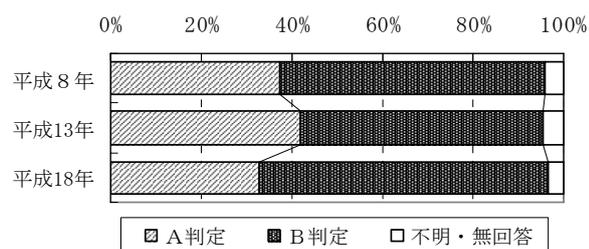
問6 療育手帳の判定は次のどちらですか。

- ・ 今回調査では、「A判定」が32.9%、「B判定」が63.7%となっている。

問6 療育手帳の判定

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
A判定	37.2	41.7	32.9
B判定	58.6	53.8	63.7
不明・無回答	4.2	4.5	3.4
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



(2) 合併症の状況

問7 合併症の状況についておたずねします。合併症のある場合、次の項目のうちから主な障害を2つまでお答えください。(合併症のない方は、20の番号をお答えください。)

- ・ 今回調査では、「自閉症又は自閉的傾向」や「てんかん」などの「その他」の比率が49.0%と最も多く、次いで「合併症はない」が39.5%と続いており、それ以外の項目は10%未満となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「視覚障害」、「肢体不自由」、「内部障害」の比率は減少傾向にあり、「その他」と「合併症はない」の比率は増加傾向にある。

問7 合併症の状況（複数回答2）

(単位:%)

障害の種類	主な障害	平成8年	平成13年	平成18年			
視覚障害	視覚	15.0	15.0	6.1	6.1	3.4	3.4
聴覚障害	聴覚・言語	11.8	22.5	4.6	14.1	0.9	6.3
	聴覚・平衡	0.5		1.2		0.8	
	音声・言語・そしゃく	10.2		8.3		4.6	
肢体不自由	片上肢	0.6	22.1	1.6	12.8	1.0	5.2
	両上肢	0.6		1.6		0.8	
	片下肢	2.0		2.8		1.2	
	両下肢	3.2		3.4		1.2	
	片上下肢	2.3		1.3		0.7	
	四肢	3.3		2.1		0.3	
	脳性マヒ*	10.1		—		—	
内部障害	心臓	3.6	5.4	6.0	9.2	3.7	6.4
	じん臓	0.6		0.9		0.5	
	呼吸器	0.8		1.5		1.2	
	ぼうこう・直腸	0.3		0.7		0.7	
	小腸	0.1		0.1		0.3	
その他	自閉症又は自閉的傾向	12.2	39.8	12.7	45.8	20.7	49.0
	情緒障害	9.9		10.6		8.8	
	てんかん	11.3		12.8		12.7	
	その他	6.4		9.7		6.8	
合併症はない		26.0		31.1		39.5	
不明・無回答		10.8		11.0		13.9	
合計		141.8		130.2		123.4	
N		113		983		764	

* 平成13年からは項目から削除

(3) 身体障害者手帳等の有無

問8 あなたは、次の手帳をおもちですか。

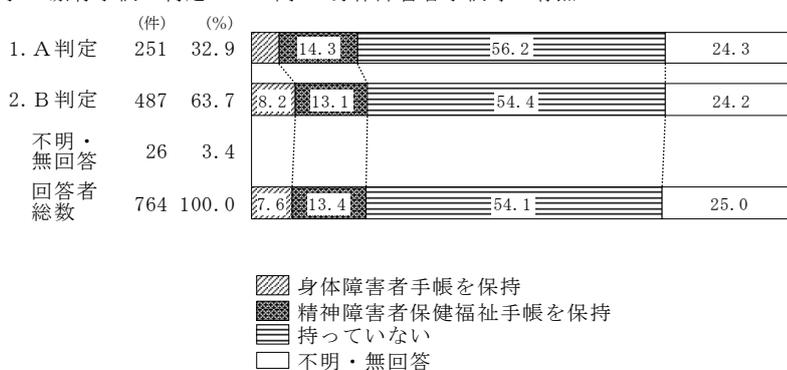
- ・ 今回調査では、「持っていない」が54.1%で最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が13.4%、「身体障害者手帳」が7.6%となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比較して「身体障害者手帳」の比率が大幅に低下しているが、この変動には、今回調査において「不明・無回答」の比率が、大きく増加していることの影響もあると考えられる。

問8 身体障害者手帳等の有無



- ・ 療育手帳の判定別では、身体障害者手帳等の有無にあまり違いは見られない。

問6 療育手帳の判定 × 問8 身体障害者手帳等の有無



(4) 身体障害者手帳の障害の種類

問9-1 「問8」で「1. 身体障害者手帳をもっている」とお答えの方) あなたの身体障害者手帳について、その主な障害の種類を1つだけ、「問7」で分類してある1～20の項目から選んでお答えください。なお、「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害」の場合は21の番号をお答えください。

- ・ 今回調査では、「その他」が20.7%、「視覚障害」、「聴覚障害」、「内部障害」が3.4%となっている。
- ・ 前回調査と比較して「不明・無回答」の比率が大幅に増え、「肢体不自由」の比率が大きく減少している。

問9-1 身体障害者手帳の障害の種類

(単位:%)

障害の種類	主な障害	平成8年		平成13年		平成18年	
視覚障害	視覚	4.5	4.5	7.5	7.5	3.4	3.4
聴覚障害	聴覚・言語	2.2	7.8	4.0	9.7	0.0	3.4
	聴覚・平衡	1.1		1.7		0.0	
	音声・言語・そしゃく	4.5		4.0		3.4	
肢体不自由	片上肢	1.1	36.7	1.2	23.7	0.0	1.7
	両上肢	1.1		1.7		0.0	
	片下肢	1.5		1.7		1.7	
	両下肢	4.9		5.2		0.0	
	片上下肢	4.9		6.4		0.0	
	四肢	4.9		7.5		0.0	
	脳性マヒ*	18.3		—		—	
内部障害	心臓	3.4	4.2	6.9	7.5	1.7	3.4
	じん臓	0.4		0.6		0.0	
	呼吸器	0.0		0.0		1.7	
	ぼうこう・直腸	0.0		0.0		0.0	
	小腸	0.4		0.0		0.0	
その他	自閉症又は自閉的傾向	—	16.0	0.6	21.5	1.7	20.7
	情緒障害	—		0.6		5.2	
	てんかん	—		2.9		1.7	
	その他	16.0		16.2		12.1	
	免疫機能障害	—		1.2		0.0	
合併症はない		2.2		0.6		1.7	
不明・無回答		28.7		29.5		65.5	
合計		100.0		100.0		100.0	
N		268		173		58	

* 平成18年は項目から削除

(5) 身体障害者手帳の等級

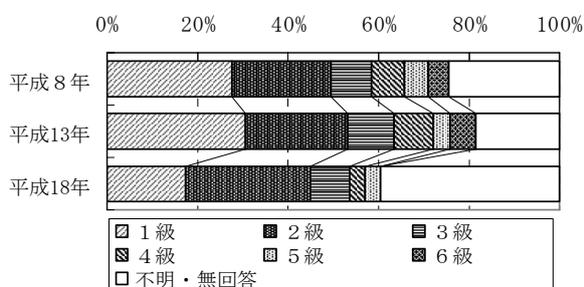
問9-2 「問8」で「1. 身体障害者手帳をもっている」とお答えの方) あなたの身体障害者手帳の等級(障害の程度)は何級ですか。身体障害者手帳を見てお答えください。

- ・ 今回調査では、「2級」が27.6%で最も多く、次いで「1級」の17.2%、「3級」の8.6%などとなっている。
- ・ 経年的には、「1級」の比率が大きく低下し、「2級」の比率が増加しているが、この変動には、今回調査において「不明・無回答」の比率が、大きく増加していることの影響もあると考えられる。

問9-2 身体障害者手帳の等級

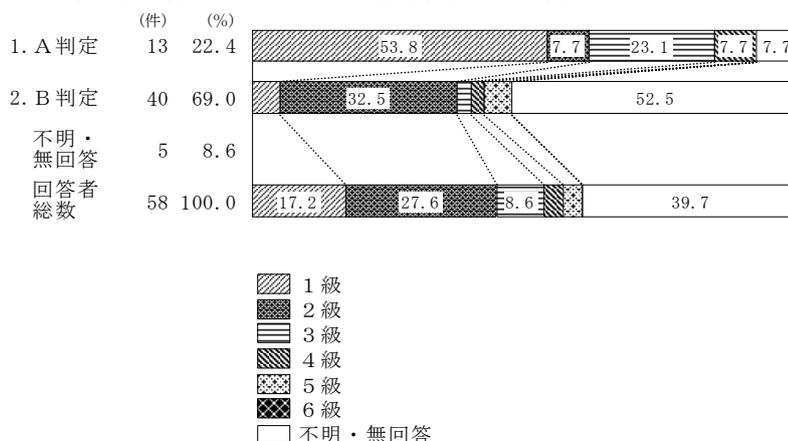
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
1級	27.6	30.6	17.2
2級	21.6	22.5	27.6
3級	9.3	10.4	8.6
4級	7.1	8.7	3.4
5級	5.2	3.5	3.4
6級	4.5	5.8	0.0
不明・無回答	24.6	18.5	39.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	268	173	58



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」の場合は「1級」の比率が高く、「B判定」では「2級」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問9-2 身体障害者手帳の等級



3. 生活の状況

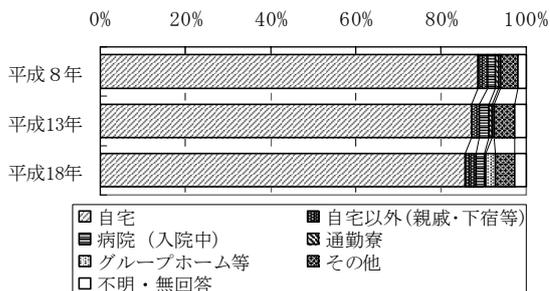
(1) 居住場所

問10 あなたが今、住んでいる場所を1つお答えください。

- ・ 今回調査では、「自宅」が85.7%で最も多くなっている。
- ・ 経年的には、大きな変化は見られない。

問10 居住場所

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
自宅	88.5	87.0	85.7
自宅以外（親戚・下宿等）	2.3	2.1	2.5
病院（入院中）	2.0	2.4	1.8
通勤寮	0.8	0.4	0.4
グループホーム等	0.4	0.7	2.4
その他	4.3	4.6	4.5
不明・無回答	1.7	2.8	2.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



(2) 日常生活動作（IADL）の状況

問11 あなたの日頃の生活についておたずねします。あなたは次の(1)～(8)までの日頃の生活が一人でできますか。次の各動作ごとにいずれか1つを選んでお答えください。（この場合、「できる」、「できない」の判断は現に所持している補装具や自助具をつけた状態で判断してください。）

1. 介助の必要なし 2. 一部介助が必要 3. 全部介助が必要

- (1) 食事をする
- (2) トイレに行く
- (3) お風呂に入る
- (4) 服を脱ぐ・着る
- (5) 家の中を歩く
- (6) 階段を昇り降りする
- (7) 家事（炊事・掃除・洗濯など）をする
- (8) 寝返りをする

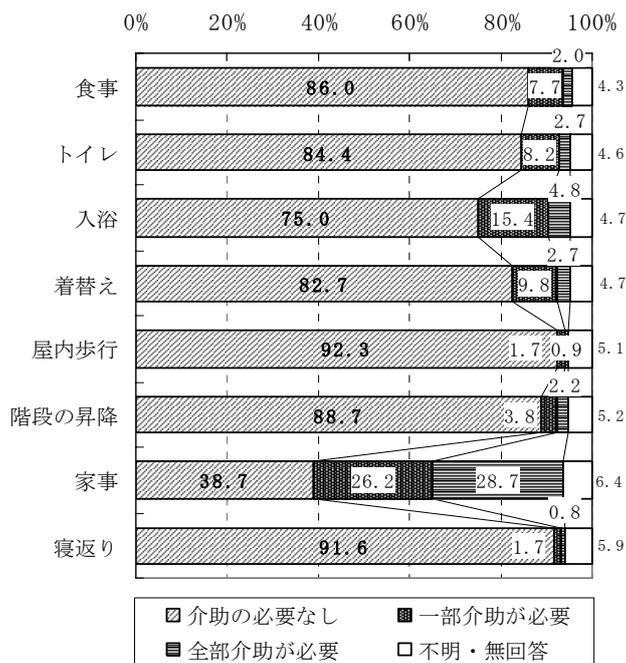
- ・ 日常生活動作（IADL）の中で「何らかの介助が必要」（一部介助が必要＋全部介助が必要）である人の割合が高いものは、「家事」で54.9％、次いで「入浴」が20.2％、「着替え」が12.5％、「トイレ」が10.9％、「食事」が9.7％などと続いている。
- ・ 経年的には、前回調査と比較して、いずれの動作においても「介助の必要なし」の比率が増加し、「一部介助が必要」と「全部介助が必要」の合計比が減少している。
- ・ 療育手帳の判定別では、いずれの動作においても「A判定」の方が介助の必要性が高く表れている。

問11 日常生活動作の状況

(単位:%)

	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		家事		寝返り	
介助の必要なし	86.0		84.4		75.0		82.7		92.3		88.7		38.7		91.6	
一部介助が必要	7.7	9.7	8.2	10.9	15.4	20.2	9.8	12.5	1.7	2.6	3.8	6.0	26.2	54.9	1.7	2.5
全部介助が必要	2.0		2.7		4.8		2.7		0.9		2.2		28.7		0.8	
不明・無回答	4.3		4.6		4.7		4.7		5.1		5.2		6.4		5.9	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
N	764		764		764		764		764		764		764		764	

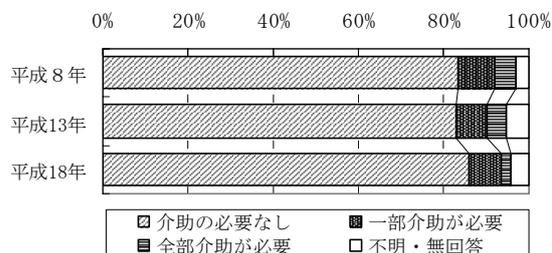
第5章 知的障害者生活状況調査（18歳以上）結果



問11(1) 日常生活動作の状況（食事）

(単位:%)

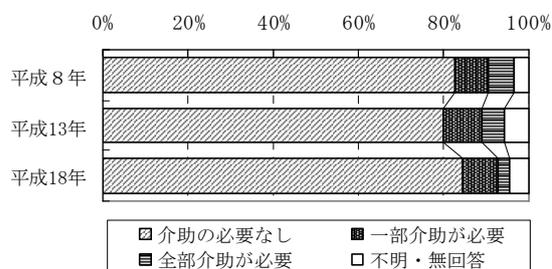
	平成8年	平成13年	平成18年
介助の必要なし	83.4	83.0	86.0
一部介助が必要	8.8	7.2	7.7
全部介助が必要	4.7	4.4	2.0
不明・無回答	3.1	5.4	4.3
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



問11(2) 日常生活動作の状況（トイレ）

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
介助の必要なし	82.8	80.1	84.4
一部介助が必要	7.9	8.7	8.2
全部介助が必要	6.0	5.4	2.7
不明・無回答	3.3	5.7	4.6
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764

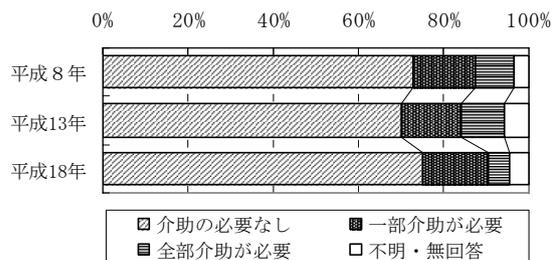


第5章 知的障害者生活状況調査（18歳以上）結果

問11(3) 日常生活動作の状況（入浴）

(単位:%)

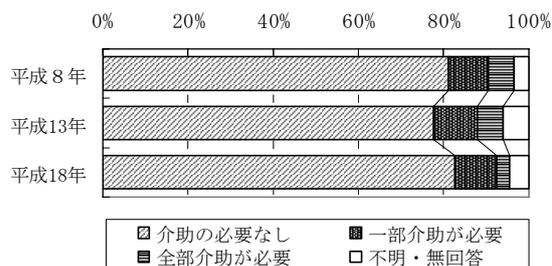
	平成8年		平成13年		平成18年	
介助の必要なし	72.9		70.3		75.0	
一部介助が必要	14.5	23.8	13.9	23.8	15.4	20.2
全部介助が必要	9.3		9.9		4.8	
不明・無回答	3.3		5.8		4.7	
合計	100.0		100.0		100.0	
N	785		755		764	



問11(4) 日常生活動作の状況（着替え）

(単位:%)

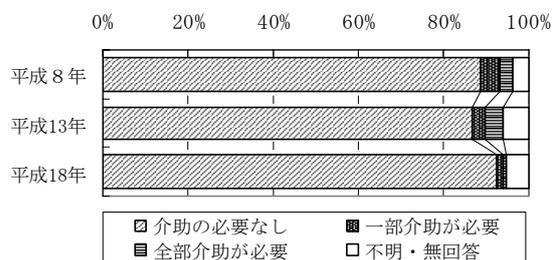
	平成8年		平成13年		平成18年	
介助の必要なし	81.1		77.7		82.7	
一部介助が必要	9.4	15.4	10.3	16.3	9.8	12.5
全部介助が必要	6.0		6.0		2.7	
不明・無回答	3.4		6.0		4.7	
合計	100.0		100.0		100.0	
N	785		755		764	



問11(5) 日常生活動作の状況（屋内歩行）

(単位:%)

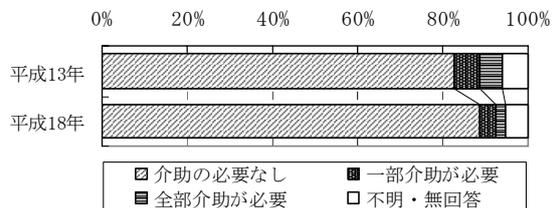
	平成8年		平成13年		平成18年	
介助の必要なし	88.7		86.9		92.3	
一部介助が必要	4.6	7.7	2.8	6.9	1.7	2.6
全部介助が必要	3.1		4.1		0.9	
不明・無回答	3.7		6.2		5.1	
合計	100.0		100.0		100.0	
N	785		755		764	



問11(6) 日常生活動作の状況（階段の昇降）

(単位:%)

	平成13年		平成18年	
介助の必要なし	82.5		88.7	
一部介助が必要	6.1	11.4	3.8	6.0
全部介助が必要	5.3		2.2	
不明・無回答	6.1		5.2	
合計	100.0		100.0	
N	755		764	

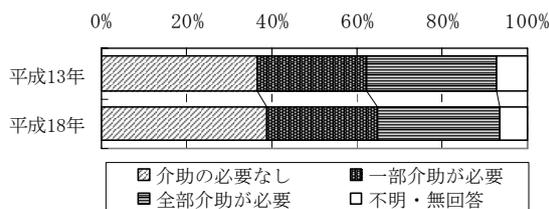


第5章 知的障害者生活状況調査（18歳以上）結果

問11(7) 日常生活動作の状況（家事）

(単位:%)

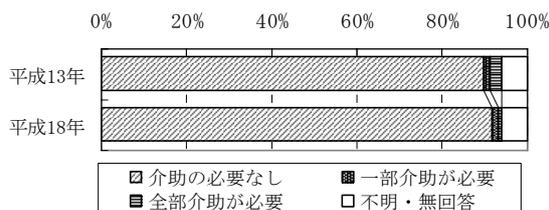
	平成13年	平成18年
介助の必要なし	36.7	38.7
一部介助が必要	25.6	26.2
全部介助が必要	30.6	28.7
不明・無回答	7.2	6.4
合計	100.0	100.0
N	755	764



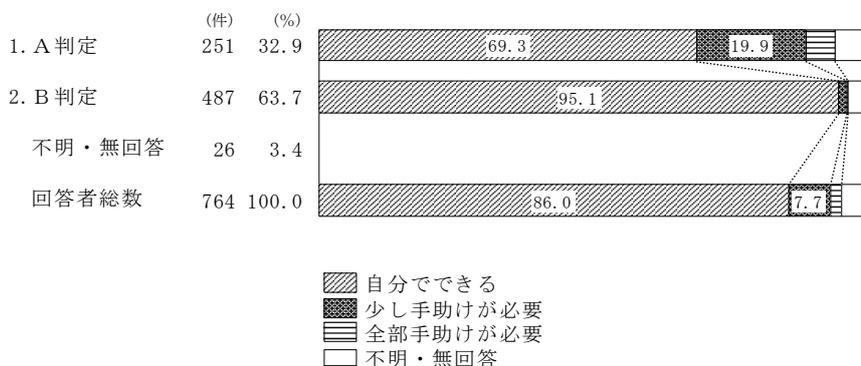
問11(8) 日常生活動作の状況（寝返り）

(単位:%)

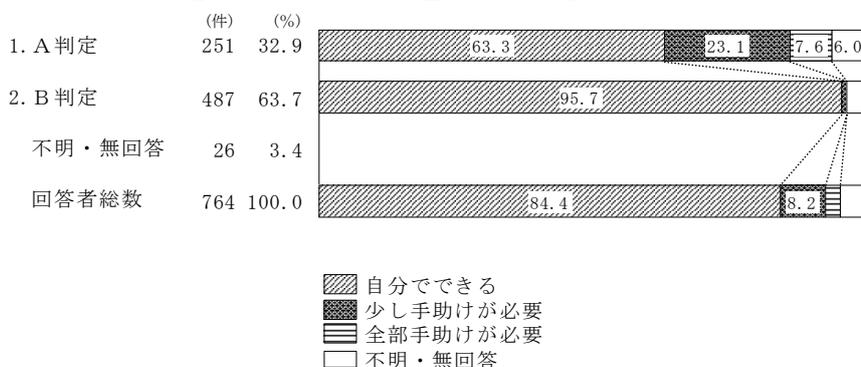
	平成13年	平成18年
介助の必要なし	89.9	91.6
一部介助が必要	1.6	1.7
全部介助が必要	2.4	0.8
不明・無回答	6.1	5.9
合計	100.0	100.0
N	755	764



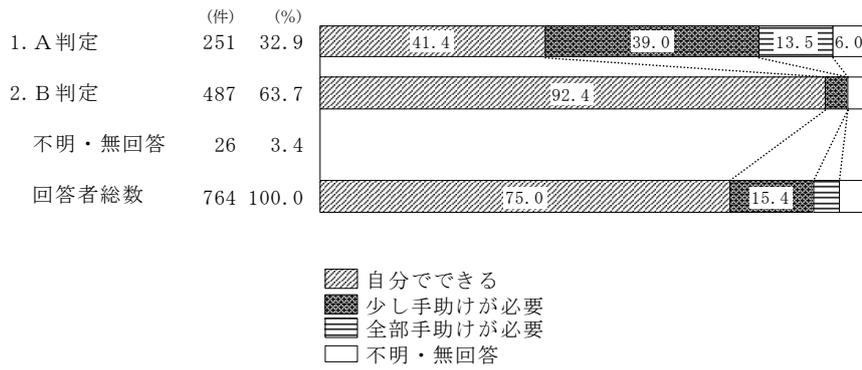
問6 療育手帳の判定 × 問11(1) 日常生活動作の状況（食事）



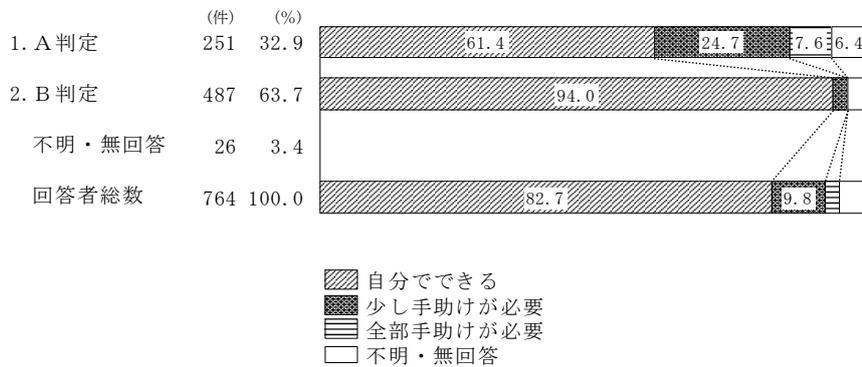
問6 療育手帳の判定 × 問11(2) 日常生活動作の状況（トイレ）



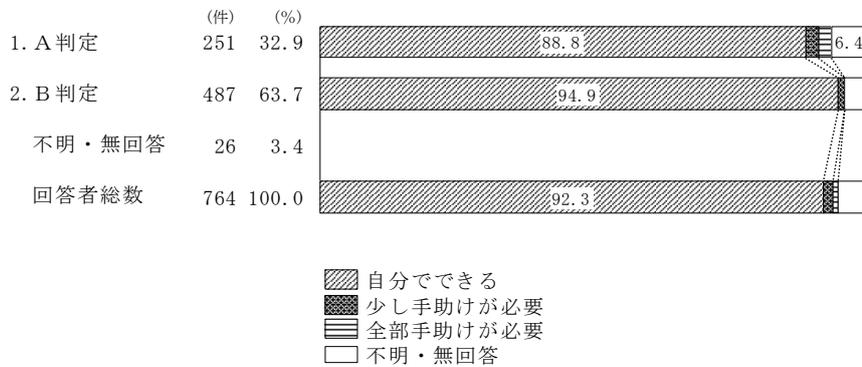
問6 療育手帳の判定 × 問11(3) 日常生活動作の状況（入浴）



問6 療育手帳の判定 × 問11(4) 日常生活動作の状況（着替え）

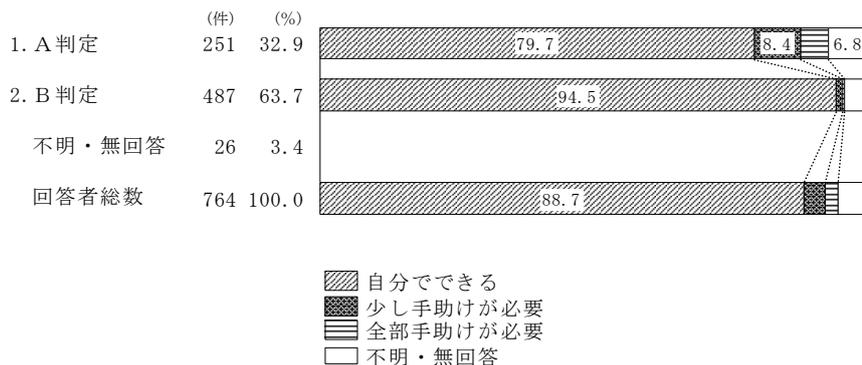


問6 療育手帳の判定 × 問11(5) 日常生活動作の状況（屋内歩行）

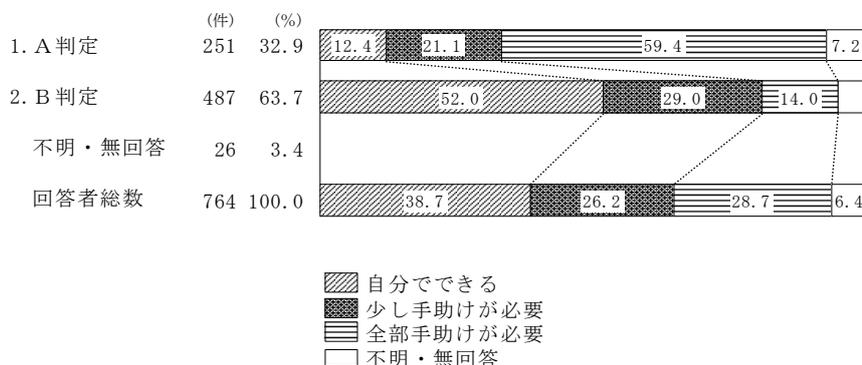


第5章 知的障害者生活状況調査（18歳以上）結果

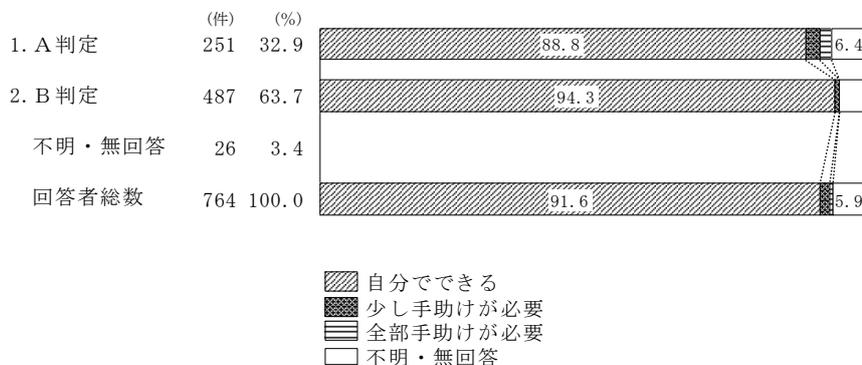
問6 療育手帳の判定 × 問11(6) 日常生活動作の状況（階段の昇降）



問6 療育手帳の判定 × 問11(7) 日常生活動作の状況（家事）



問6 療育手帳の判定 × 問11(8) 日常生活動作の状況（寝返り）



(3) 主な介助者の状況

7 主な介助者

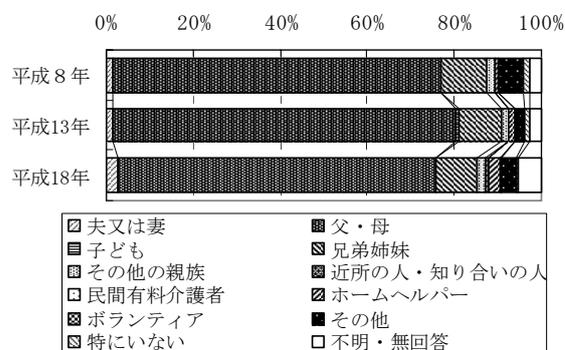
問12-1 「問11」の日頃の生活で、1つでも「2. 少し手助けが必要」「3. 全部手助けが必要」とお答えの方）あなたは主にどなたに手伝ってもらっていますか。1つお答えください。

- ・ 今回調査では、「父・母」が72.8%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」が9.4%となっている。
- ・ 前回調査と比較して、「父・母」の比率は若干低下している。

問12-1 主な介助者

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
夫又は妻	1.4	1.4	2.8
父・母*1	75.6	78.8	72.8
子ども	0.0	0.9	0.2
兄弟姉妹	10.9	9.8	9.4
その他の親族*2	1.9	1.4	1.9
隣人・知人	0.0	0.2	0.7
民間有料介護者	0.0	0.0	0.0
ホームヘルパー	0.5	1.4	2.8
ボランティア	-	0.0	0.2
その他	5.9	2.3	3.3
特になし	1.4	1.1	0.5
不明・無回答	2.7	2.7	5.4
合計	100.0	100.0	100.0
N	221	437	426

*1 平成13年「父母」は「父」5.3%、「母」73.5%を足した数値
 *2 平成18年以外は「祖父母」と「その他の親族」を足した数値



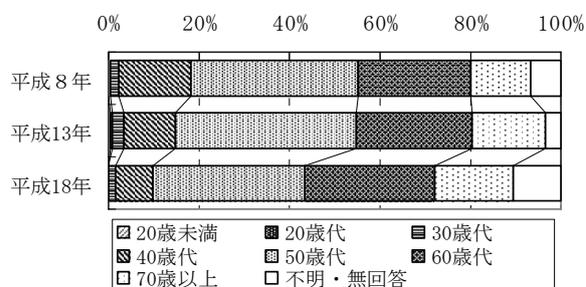
イ 主な介助者の年齢

問12-2-1 「問12-1」で「1. 夫又は妻」から「5. その他の親族」までのいずれかにお答えの方）あなたが主に手伝ってもらっている方の年齢は、おいくつですか。

- ・ 今回調査では、「50歳代」が33.4%で最も多く、次いで「60歳代」が28.6%、「70歳以上」が17.5%と続いている。「50歳代」、「60歳代」で62.0%と全体の6割を超えている。
- ・ 前回調査と比較して「40歳代」や「50歳代」の比率が減少し、「60歳代」、「70歳以上」の比率が増加している。

問12-2-1 主な介助者の年齢

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
20歳未満	0.0	0.2	0.0
20歳代	0.5	0.7	0.0
30歳代	1.8	2.5	1.6
40歳代	15.8	11.4	8.4
50歳代	37.1	40.0	33.4
60歳代	24.9	25.6	28.6
70歳以上	13.1	16.1	17.5
不明・無回答	6.8	3.5	10.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	221	403	371



ウ 介助者がいない場合の対応

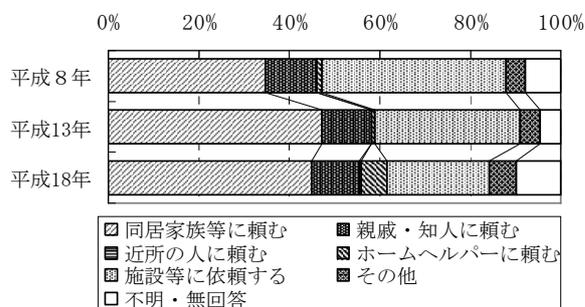
問12-2-2 「問12-1」で「1. 夫又は妻」から「5. その他の親族」までのいずれかにお答えの方）あなたのお世話をなさっている方が万一急病、事故、出産などのため、一時的にお世話ができなくなった場合、どうされますか。主なものを1つお答えください。

- ・ 今回調査では、「同居家族等に頼む」が44.7%で最も多く、次いで「施設等に依頼する」が22.6%、「親戚・知人に頼む」が10.8%と続いている。
- ・ 経年的には、「施設等に依頼する」の比率が減少傾向にある。

問12-2-2 介助者がいない場合の対応

(単位:%)

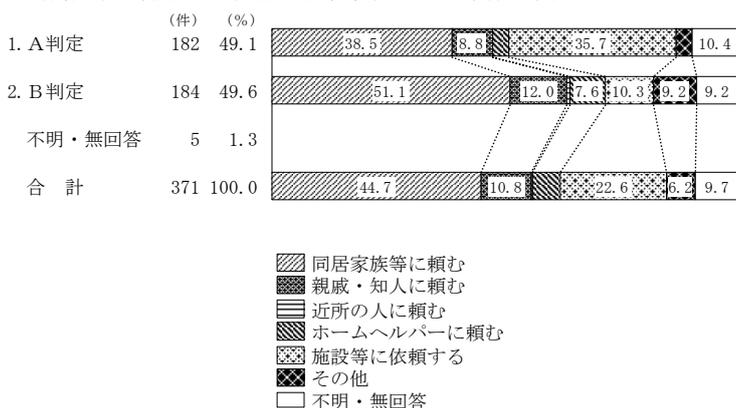
	平成8年	平成13年	平成18年
同居家族等に頼む	34.8	47.4	44.7
親戚・知人に頼む	11.3	10.7	10.8
近所の人に頼む	0.0	0.2	0.3
ホームヘルパーに頼む*	0.9	0.5	5.7
施設等に依頼する	40.7	32.3	22.6
その他	4.1	4.5	6.2
不明・無回答	8.1	4.5	9.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	221	403	371



* 平成18年以外は「お手伝いを雇う」

- ・ 療育手帳の判定別で見ると、「A判定」では「B判定」に比べ「施設等に依頼する」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問12-2-2 介助者がいない場合の対応



(4) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

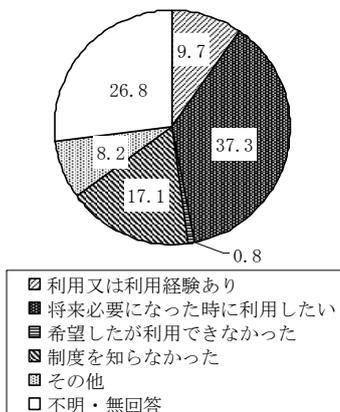
7 利用状況

問13 短期入所（ショートステイ）の利用についておたずねします。あなたは短期入所（ショートステイ）を利用されたことがありますか。

- ・ 今回調査では、「将来必要になった時に利用したい」が37.3%で最も多く、次いで「制度を知らなかった」が17.1%、「利用又は利用経験あり」が9.7%と続いている。

問13 短期入所（ショートステイ）の利用状況
(単位:%)

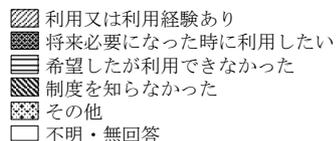
	平成18年
利用又は利用経験あり	9.7
将来必要になった時に利用したい	37.3
希望したが利用できなかった	0.8
制度を知らなかった	17.1
その他	8.2
不明・無回答	26.8
合計	100.0
N	764



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べ「利用又は利用経験あり」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問13 短期入所（ショートステイ）の利用状況

判定	(件)	(%)	利用又は利用経験あり	将来必要になった時に利用したい	希望したが利用できなかった	制度を知らなかった	その他	不明・無回答
1. A判定	251	32.9	21.5	43.4	0.0	10.4	20.3	
2. B判定	487	63.7	35.3	19.9	0.0	10.9	29.4	
不明・無回答	26	3.4						
回答者総数	764	100.0	9.7	37.3	0.8	17.1	8.2	26.8



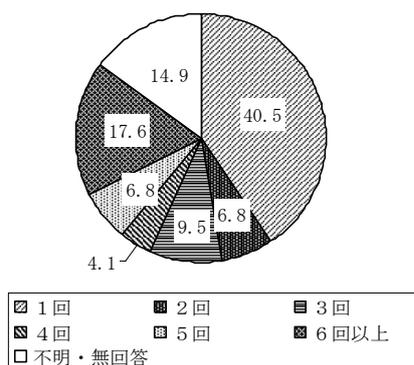
イ 年間の利用回数

問14-1（問13）で、短期入所（ショートステイ）を「1. 現在、利用している。または利用したことがある」とお答えの方）過去1年間にどの程度利用しましたか。

- ・ 今回調査では、「1回」が40.5%で最も多く、次いで「6回以上」が17.6%と続いており、利用回数が二極化する傾向が見られる。

問14-1 短期入所の年間の利用回数
(単位:%)

	平成18年
1回	40.5
2回	6.8
3回	9.5
4回	4.1
5回	6.8
6回以上	17.6
不明・無回答	14.9
合計	100.0
N	74



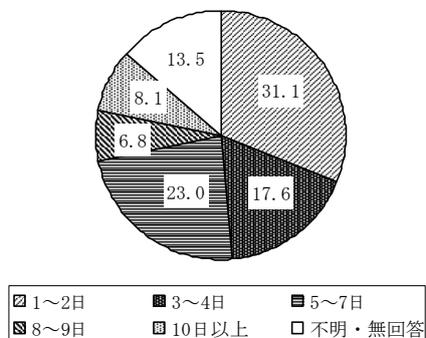
ウ 利用平均日数

問14-2 1回あたり平均して何日程度利用しましたか。

- ・ 「1～2日」が31.1%で最も多く、次いで「5～7日」が23.0%、「3～4日」が17.6%と続いている。

問14-2 短期入所の利用平均日数
(単位:%)

	平成18年
1～2日	31.1
3～4日	17.6
5～7日	23.0
8～9日	6.8
10日以上	8.1
不明・無回答	13.5
合計	100.0
N	74



(5) ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況

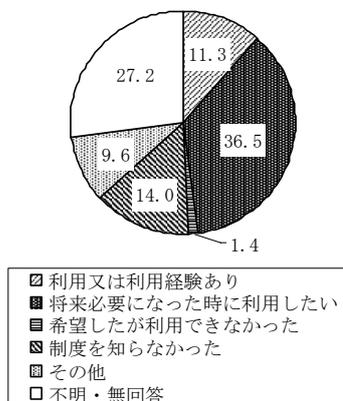
7 利用状況

問15 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用についておたずねします。あなたはホームヘルプサービスを利用されたことがありますか。

- ・ 「将来必要になった時に利用したい」が36.5%で最も多く、次いで「制度を知らなかった」が14.0%、「利用又は利用経験あり」が11.3%と続いている。

問15 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況 (単位:%)

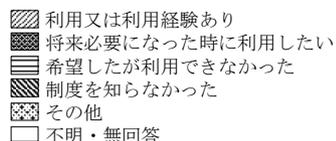
	平成18年
利用又は利用経験あり	11.3
将来必要になった時に利用したい	36.5
希望したが利用できなかった	1.4
制度を知らなかった	14.0
その他	9.6
不明・無回答	27.2
合計	100.0
N	764



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「利用又は利用経験あり」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問15 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況

判定	件数	割合 (%)	利用又は利用経験あり	将来必要になった時に利用したい	希望したが利用できなかった	制度を知らなかった	その他	不明・無回答
1. A判定	251	32.9	23.5	43.4	7.6	18.3		
2. B判定	487	63.7	34.3	16.6	11.9	30.8		
不明・無回答	26	3.4						
回答者総数	764	100.0	11.3	36.5	1.4	14.0	9.6	27.2



イ ホームヘルパーに手伝ってほしいこと

問16-1 「問15」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方）ホームヘルパーに手伝ってほしいことは何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「家事の介助」が70.1%で最も多く、次いで「介護者がいない時の世話」が53.7%、「外出の介助」が51.2%などと続いている。

問16-1 ホームヘルパーに手伝ってほしいこと（複数回答3）
（単位：%）

	平成18年
食事の介助	10.1
トイレの介助	5.2
入浴の介助	15.6
着替えの介助	1.9
家事の介助	70.1
外出の介助	51.2
介護者がいない時の世話	53.7
不明・無回答	7.4
合計	215.3
N	365

- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べ、「外出の介助」や「介護者がいない時の世話」、「入浴の介助」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問16-1 ホームヘルパーに手伝ってほしいこと（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：構成比（%）

問16-1		ホームヘルパーに手伝ってほしいこと（複数回答3）								
問6		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	不明・無回答	回答者総数
		食事の介助	トイレの介助	入浴の介助	着替えの介助	家事の介助	外出の介助	介護者がいない時の世話		
療育手帳の判定	1. A判定	13 7.7	14 8.3	44 26.2	4 2.4	102 60.7	115 68.5	113 67.3	6 3.6	168 100.0
	2. B判定	24 12.4	5 2.6	11 5.7	3 1.6	151 78.2	72 37.3	81 42.0	21 10.9	193 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	4 100.0
	回答者総数	37 10.1	19 5.2	57 15.6	7 1.9	256 70.1	187 51.2	196 53.7	27 7.4	365 100.0

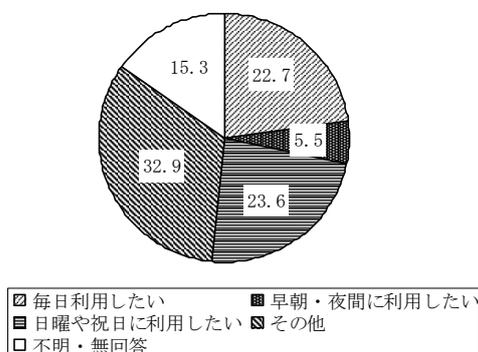
ウ ホームヘルパーの利用希望時間帯等

問16-2（「問15」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方）ホームヘルパーを特にどのように利用したいですか。主なものを1つお答えください。

- ・ 「その他」が32.9%、「日曜や祝日に利用したい」が23.6%、「毎日利用したい」が22.7%と続いている。「その他」の具体的内容としては、「介護者がいないとき」や「親が忙しいとき」、「週に数回」などの記述が見られた。

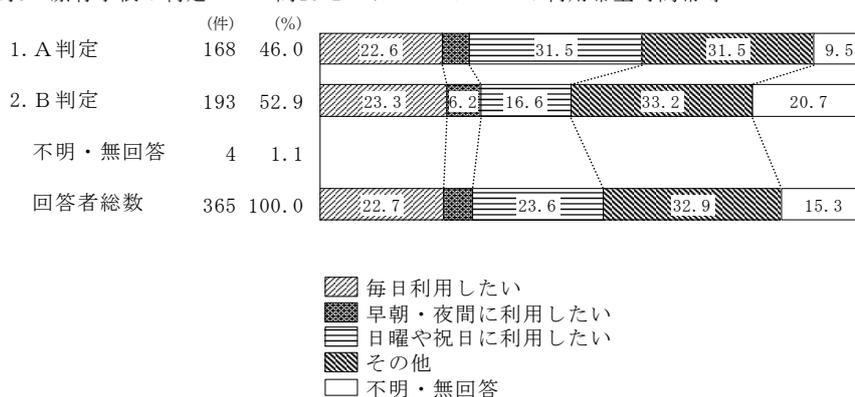
問16-2 ホームヘルパーの利用希望時間帯等
(単位:%)

	平成18年
毎日利用したい	22.7
早朝・夜間に利用したい	5.5
日曜や祝日に利用したい	23.6
その他	32.9
不明・無回答	15.3
合計	100.0
N	365



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「日曜や祝日に利用したい」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問16-2 ホームヘルパーの利用希望時間帯等



Ⅰ ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数

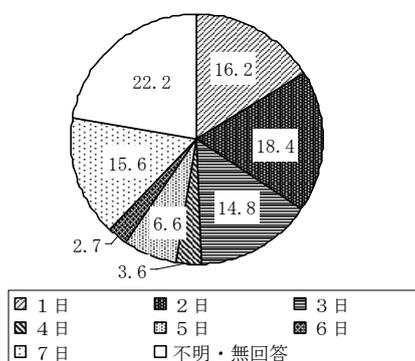
問16-3 「問15」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方) ホームヘルパーを1週間のうち何日利用したいですか。

- ・ 「2日」が18.4%、「1日」が16.2%、「3日」が14.8%となっており、1日～3日で49.4%と約半数を占めている。また、「7日」の比率も15.6%を占めている。

問16-3 ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数

(単位:%)

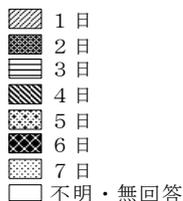
	平成18年
1日	16.2
2日	18.4
3日	14.8
4日	3.6
5日	6.6
6日	2.7
7日	15.6
不明・無回答	22.2
合計	100.0
N	365



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「1日」や「2日」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問16-3 ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数

判定	(件)	(%)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
1. A判定	168	46.0	21.4	20.8	13.1	7.7	16.7	17.3		
2. B判定	193	52.9	11.4	15.5	16.1		15.0	26.9		
不明・無回答	4	1.1								
回答者総数	365	100.0	16.2	18.4	14.8	3.6	6.6	15.6	22.2	



オ ホームヘルパーの利用希望時間数

問16-4（「問15」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方）ホームヘルパーを1日に何時間利用したいですか。

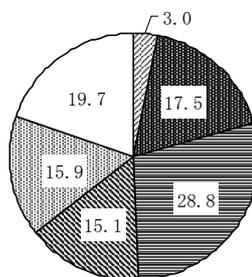
- ・ 「2～3時間未満」が28.8%と最も多く、次いで「1～2時間未満」が17.5%、「4時間以上」が15.9%、「3～4時間未満」が15.1%と続いている。
- ・ 1週間当たりの利用希望延べ時間分布を見ると、「10～20時間未満」が最も多くなっている。

問16-4 ホームヘルパーの利用希望時間数

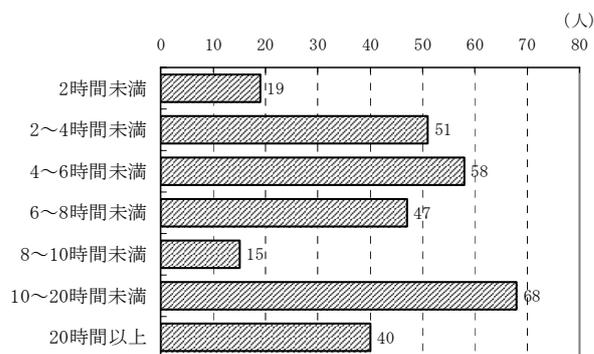
(単位:%)

平成18年

1時間未満	3.0
1～2時間未満	17.5
2～3時間未満	28.8
3～4時間未満	15.1
4時間以上	15.9
不明・無回答	19.7
合計	100.0
N	365



ホームヘルパーの利用希望延べ時間分布（週当たり）



* 算出方法：各個人のデータから、利用希望時間数(1日)×利用希望日数(週)を積み上げたもの

(6) 日帰り介護（デイサービス）の利用状況

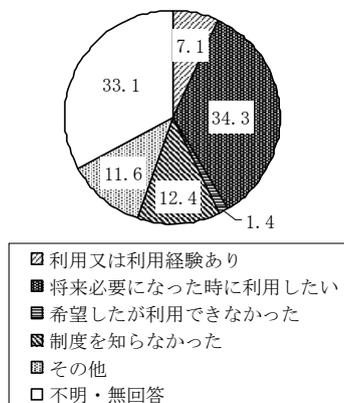
7 利用状況

問17 日帰り介護（デイサービス）の利用についておたずねします。あなたは日帰り介護（デイサービス）を利用したことがありますか。

- ・ 「将来必要になった時に利用したい」が34.3%を占め最も多く、次いで「制度を知らなかった」が12.4%、「その他」が11.6%と続いている。「その他」の具体的内容としては「まだ考えていない」や「利用する必要がない」などの記述が見られた。「利用又は利用経験あり」は7.1%となっている。

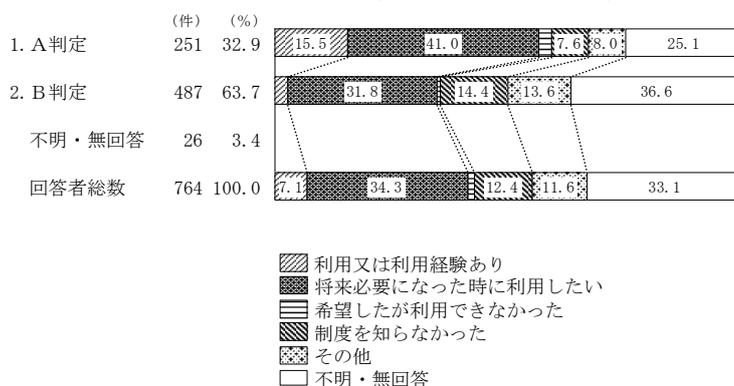
問17 日帰り介護（デイサービス）の利用状況
(単位:%)

	平成18年
利用又は利用経験あり	7.1
将来必要になった時に利用したい	34.3
希望したが利用できなかった	1.4
制度を知らなかった	12.4
その他	11.6
不明・無回答	33.1
合計	100.0
N	764



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「利用又は利用経験あり」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問17 日帰り介護（デイサービス）の利用状況



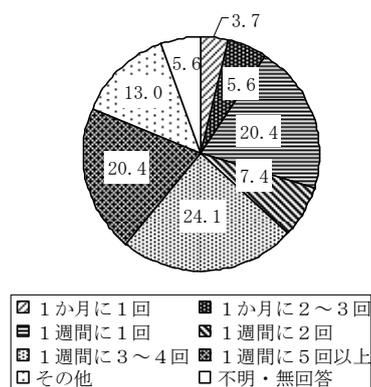
イ 利用回数

問18-1 「問17」で、日帰り介護（デイサービス）を「1. 現在、利用している。または利用したことがある」とお答えの方)どの程度利用していますか。

- ・ 「1週間に3～4回」が24.1%と最も多くなっており、次いで「1週間に1回」と「1週間に5回以上」が共に20.4%で続いている。

問18-1 日帰り介護の利用回数

	(単位:%) 平成18年
1か月に1回	3.7
1か月に2～3回	5.6
1週間に1回	20.4
1週間に2回	7.4
1週間に3～4回	24.1
1週間に5回以上	20.4
その他	13.0
不明・無回答	5.6
合計	100.0
N	54



4. 外出の状況

(1) 外出回数

問19 あなたは普通1か月に何回ぐらい外出されますか。

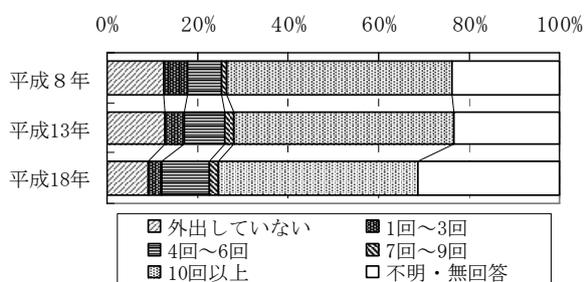
(1) 仕事・通学の場合、 (2) 仕事・通学以外の場合、に分けてお答えください。

- ・ 仕事・通学の場合については、“月に10回以上”が44.2%で最も多く、次いで“月に4回～6回”が10.5%と続いている。
- ・ 仕事・通学以外の場合については、“月に10回以上”が27.5%で最も多く、次いで“月に1回～3回”が20.5%，“月に4回～6回”が16.2%と続いている。

問19(1) 外出回数（仕事・通学の場合）

(単位:%)

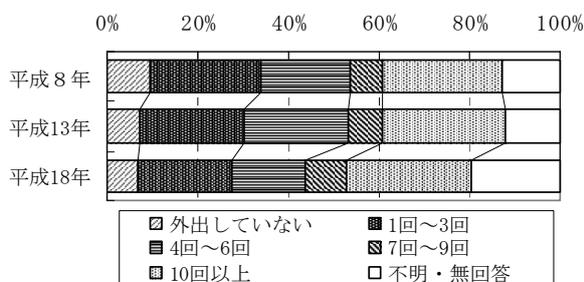
	平成8年	平成13年	平成18年
外出していない	12.5	12.8	9.2
1回～3回	5.4	4.1	2.9
4回～6回	7.3	9.3	10.5
7回～9回	1.4	1.9	2.1
10回以上	49.8	48.6	44.2
不明・無回答	23.7	23.3	31.2
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



問19(2) 外出回数（仕事・通学以外の場合）

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
外出していない	9.3	7.2	6.9
1回～3回	24.8	23.2	20.5
4回～6回	19.4	22.9	16.2
7回～9回	7.3	7.4	9.0
10回以上	26.4	27.3	27.5
不明・無回答	12.9	12.1	19.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



(2) 仕事・通学以外の外出の目的

問20-1 「問19」で「仕事・通学以外で外出した」とお答えの方) その場合、外出の目的は何でしたか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「買物」が75.7%で最も多く、次いで「通院」が35.4%、「レクリエーション」が29.5%、「知人宅訪問」が23.4%と続いている。
- ・ いずれの調査年においても、「買物」や「通院」、「レクリエーション」、「知人宅訪問」などの比率が高くなっている。

問20-1 仕事・通学以外の外出の目的〈複数回答3〉

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
買物	78.1	80.5	75.7
知人宅訪問	21.3	19.2	23.4
レクリエーション	32.9	29.8	29.5
障害者団体の活動	11.8	6.7	10.0
ボランティア活動	2.0	2.1	2.1
町内会・自治会活動	2.9	1.3	2.3
スポーツ活動	10.3	12.1	12.9
博物館見学や教養講座参加	3.6	3.8	7.3
通院	35.4	36.6	35.4
施設の利用	9.0	8.7	9.1
その他	20.1	24.8	19.8
不明・無回答	3.3	1.5	5.5
合計	230.7	227.0	233.0
N	611	610	560

(3) 外出の際の利用交通機関

問21 あなたが外出される時、主に利用される交通機関は何ですか。利用回数の多いものから2つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「市バス」が61.8%で最も多く、次いで「市営地下鉄」が34.8%、「私鉄」が17.5%、「自家用車」が15.8%などと続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「市営地下鉄」や「市バス」の比率が増加している。

問21 外出の際の利用交通機関〈複数回答2〉

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
JR	5.6	6.8	7.9
私鉄	20.6	19.7	17.5
市営地下鉄	17.2	27.4	34.8
市バス	64.2	56.4	61.8
JR・民営バス	5.6	5.0	4.8
タクシー	11.6	11.3	6.9
自家用車	23.8	24.2	15.8
その他	11.7	14.2	13.0
不明・無回答	9.3	6.9	8.0
合計	169.6	171.9	170.5
N	785	755	764

(4) 外出の際の問題点

問22 あなたは、外出されるときどのようなことにお困りですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「特にない」が40.2%で最も多く、次いで「駅や道路の案内や表示がわかりにくい」が22.4%、「車などに危険を感じる」が21.2%、「道路や駅に階段や段差が多い」が16.6%などと続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「特にない」や「駅や道路の案内や表示がわかりにくい」の比率が増加し、「階段や段差が多い」や「利用できる交通機関が少ない」などの比率が減少している。

問22 外出の際の問題点〈複数回答3〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
道路や駅に階段や段差が多い	19.9	19.7	16.6
利用できる交通機関が少ない	16.4	15.6	11.5
車などに危険を感じる	22.8	24.0	21.2
介助者がいない	7.6	8.9	7.9
駅や道路の案内や表示がわかりにくい	22.7	18.5	22.4
その他	10.1	10.9	11.4
特にない	38.0	36.4	40.2
不明・無回答	17.8	16.0	16.4
合計	155.3	150.1	147.5
N	785	755	764

- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「階段や段差が多い」や「車などに危険を感じる」、「介助者がいない」などの比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問22 外出の際の問題点〈複数回答3〉

上段：実数(件)
下段：構成比(%)

	問22	外出の際の問題点〈複数回答3〉							不明・無回答	回答者総数
		1. 道路や駅に階段や段差が多い	2. 利用できる交通機関が少ない	3. 車などに危険を感じる	4. 介助者がいない	5. 駅や道路の案内や表示がわかりにくい	6. その他	7. 特にない		
療育手帳の判定	1. A判定	58 23.1	30 12.0	70 27.9	38 15.1	60 23.9	34 13.5	69 27.5	44 17.5	251 100.0
	2. B判定	66 13.6	58 11.9	89 18.3	21 4.3	109 22.4	52 10.7	228 46.8	69 14.2	487 100.0
	不明・無回答	3 11.5	0 0.0	3 11.5	1 3.8	2 7.7	1 3.8	10 38.5	12 46.2	26 100.0
	回答者総数	127 16.6	88 11.5	162 21.2	60 7.9	171 22.4	87 11.4	307 40.2	125 16.4	764 100.0

5. 就労（仕事）・収入の状況

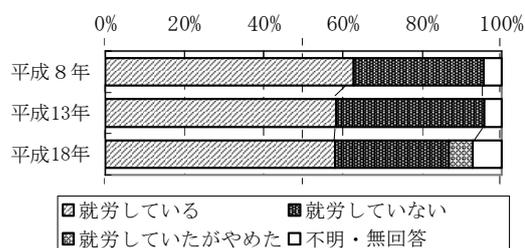
(1) 就労状況

問23 仕事についておたずねします。あなたは現在、何か仕事をしていますか。

- ・ 今回調査では、「就労している」が 58.0%、「就労していない（仕事をしていない+仕事をしていたがやめた）」が 34.8%となっている。
- ・ 前回調査と比べて大きな変化は見られない。

問23 就労状況

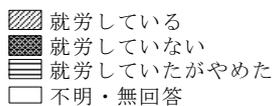
	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
就労している	62.7	58.4	58.0
就労していない	32.7	37.2	28.8
就労していたがやめた			6.0
不明・無回答	4.5	4.4	7.2
合計	100.0	100.0	100.0
N	770	755	764



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「就労していない」の比率が若干高くなっている。

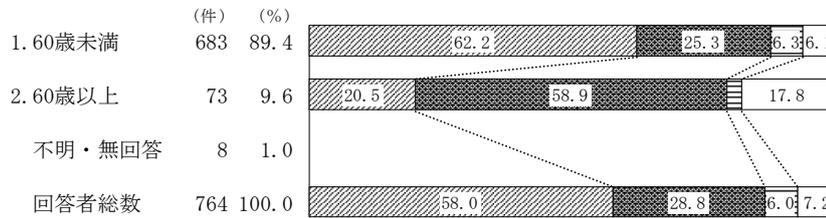
問6 療育手帳の判定 × 問23 就労状況

判定	(件)	(%)	就労している (%)	就労していない (%)	就労していたがやめた (%)	不明・無回答 (%)
1. A判定	251	32.9	57.8	31.5	8.0	0.2
2. B判定	487	63.7	59.1	26.7	7.6	6.6
不明・無回答	26	3.4				
回答者総数	764	100.0	58.0	28.8	7.2	0.0



- ・ 年齢別では、「60歳未満」の場合、「就労している」人の比率は62.2%で、前回調査と比較して大きな変化はない。

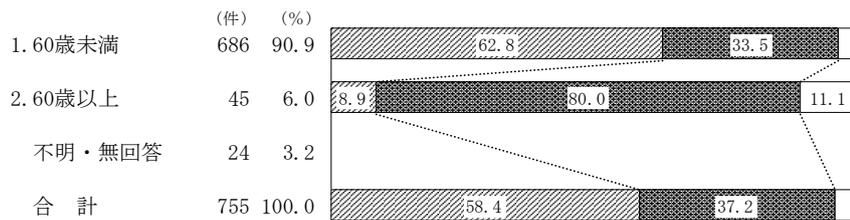
問1 年齢 × 問23 就労状況



 就労している
 就労していない
 就労していたがやめた
 不明・無回答

〈参考〉前回調査

問1 年齢 × 問17 就労状況



 仕事をしている
 仕事をしていない
 不明・無回答

(2) 就労している業種

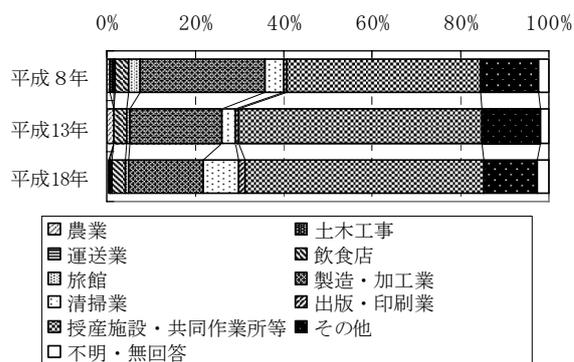
問24-1 「問23」で「1. 仕事をしている」とお答えの方 あなたの仕事は、次のうちどれでしょうか。

- ・ 今回調査では、「授産施設・共同作業所等」の比率が53.7%で最も高く、次いで「製造・加工業」が16.9%、「その他」が12.4%と続いている。

問24-1 就労している業種

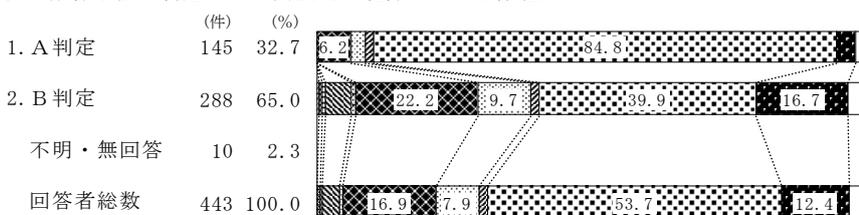
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
農業	0.6	1.4	0.2
土木工事	1.0	0.2	0.5
運送業	0.4	0.0	0.5
飲食店	2.7	2.9	3.2
旅館	2.9	0.9	0.7
製造・加工業	28.4	20.6	16.9
清掃業	4.1	3.2	7.9
出版・印刷業	0.8	0.5	1.6
授産施設・共同作業所等	43.7	55.3	53.7
その他	13.0	13.2	12.4
不明・無回答	2.3	1.8	2.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	483	441	443



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「授産施設・共同作業所など」の比率が特に高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問24-1 就労している業種



(3) 就労形態

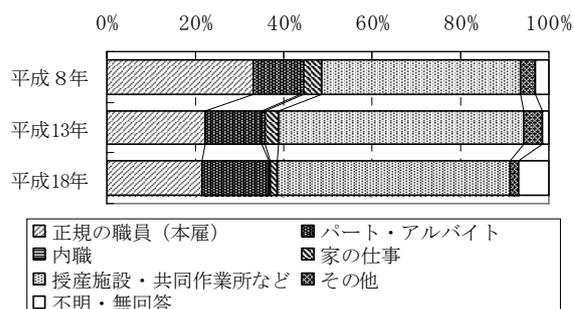
問24-2 「問23」で「1. 仕事をしている」とお答えの方 あなたはどんな形で仕事をしていますか。

- ・ 今回調査では、「授産施設・共同作業所など」が 52.6%で最も多く、次いで、「正規の職員（本雇）」が 21.4%、「パート・アルバイト」が 15.1%と続いている。

問24-2 就労形態

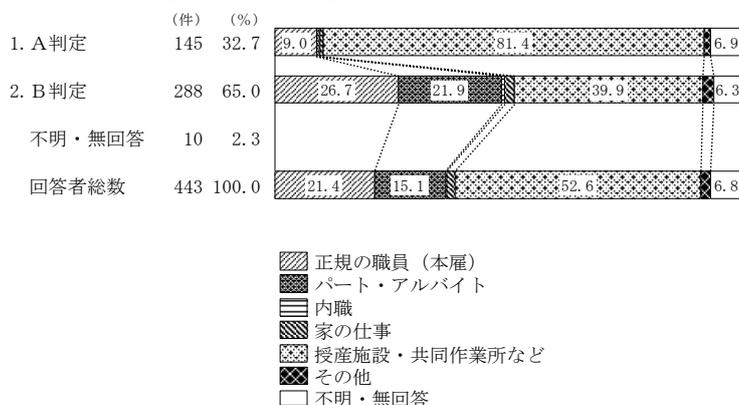
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
正規の職員（本雇）	33.1	22.2	21.4
パート・アルバイト	10.8	12.9	15.1
内職	0.6	0.7	0.5
家の仕事	4.3	2.9	1.6
授産施設・共同作業所など	44.5	55.6	52.6
その他	3.5	4.1	2.0
不明・無回答	3.1	1.6	6.8
合計	100.0	100.0	100.0
N	483	441	443



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「授産施設・共同作業所など」の比率が特に高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問24-2 就労形態



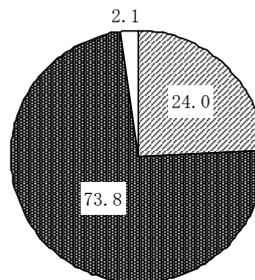
(4) 企業での就労希望の有無

問24-3-1 「問24-2」で、お勤めの形態を「5. 授産施設・共同作業所など」とお答えの方は、今後、会社で働くことを希望しますか。

- ・ 「希望する」が24.0%、「希望しない」が73.8%となっている。

問24-3-1 企業での就労希望の有無
(単位:%)

	平成18年
希望する	24.0
希望しない	73.8
不明・無回答	2.1
合計	100.0
N	233



■ 希望する ■ 希望しない □ 不明・無回答

(5) 勤務先の従業員数

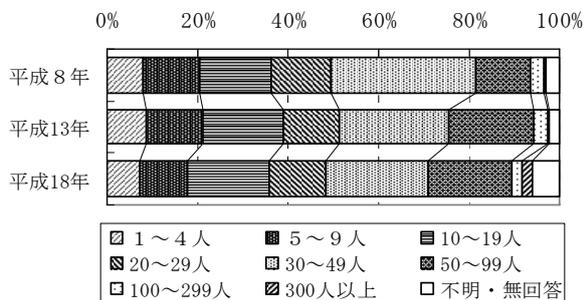
問24-4 「問23」で「1. 仕事をしている」とお答えの方が仕事しているところは、何人ぐらいの人がはたらいていますか。1つお答えください。

- ・ 今回調査では、「30～49人」が22.6%と多くなっているが、「5～9人」から「50～99人」までがいずれも10～20%を占めており、比率は分散している。

問24-4 勤務先の従業員数

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
1～4人	7.9	8.6	7.2
5～9人	12.4	12.7	10.6
10～19人	15.7	17.5	17.8
20～29人	13.5	12.5	12.6
30～49人	32.1	24.0	22.6
50～99人	12.0	19.0	18.5
100～299人	3.1	2.9	2.5
300人以上	0.2	0.5	2.3
不明・無回答	3.1	2.3	5.9
合計	100.0	100.0	100.0
N	483	441	443

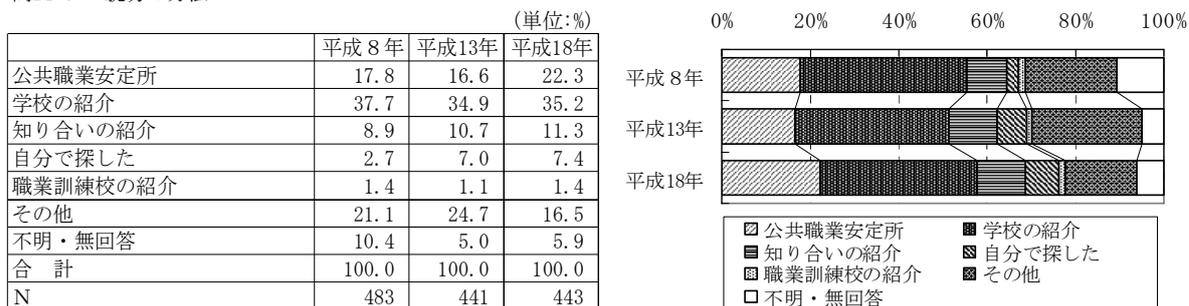


(6) 就労の方法

問24-5 「問23」で「1. 仕事をしている」とお答えの方)現在の仕事は、どんな方法で見つけられましたか。主なものを1つお答えください。

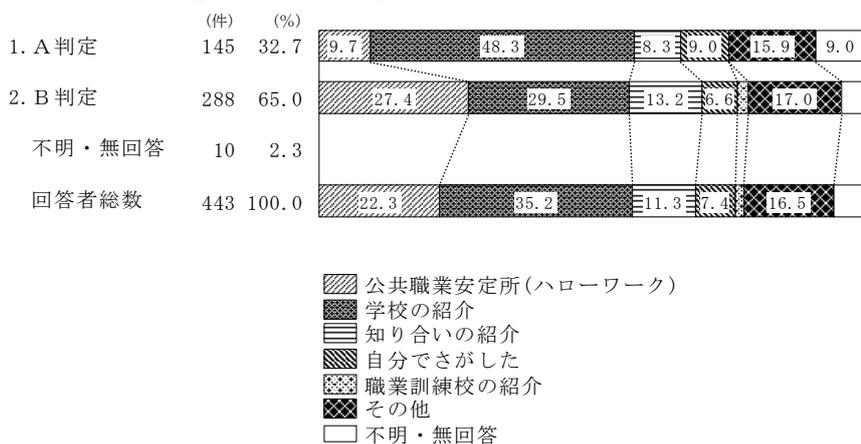
- ・ 今回調査では、「学校の紹介」が35.2%で最も多く、次いで「公共職業安定所」が22.3%、「その他」が16.5%と続いている。「その他」の具体的内容としては、「福祉事務所」や「育成会」、「自営の手伝い」などの記述が見られた。

問24-5 就労の方法



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「学校の紹介」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問24-5 就労の方法



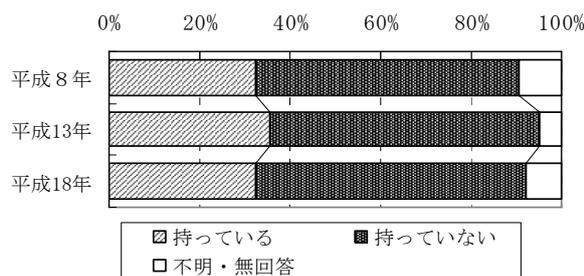
(7) 仕事についての不安や不満の有無

問24-6 「問23」で「1. 仕事をしている」とお答えの方）現在の仕事について不安や不満をもっておられますか。

- ・ 今回調査では、「持っている」が32.5%、「持っていない」が59.6%となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて大きな変化は見られない。

問24-6 仕事についての不安や不満の有無
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
持っている	32.5	35.4	32.5
持っていない	58.2	59.6	59.6
不明・無回答	9.3	5.0	7.9
合計	100.0	100.0	100.0
N	483	441	443



(8) 仕事についての不安や不満の理由

問24-7-1 「問24-6」で、「不安や不満を「1. もっている」とお答えの方）その理由は何ですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「勤務条件が合わない」が43.1%で最も多く、次いで「人間関係が良くない」が22.2%、「将来性がない」と「その他」が20.8%などと続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「勤務条件が合わない」の比率が増加し、「将来性がない」や「障害の状況に合わない」の比率が低下している。

問24-7-1 仕事についての不安や不満の理由〈複数回答2〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
職場の設備が悪い	13.4	11.5	13.9
通勤しにくい	13.4	17.3	13.9
障害の状況に合わない	11.5	10.9	4.9
技術が生かせない	4.5	1.3	5.6
人間関係が良くない	22.9	23.7	22.2
将来性がない	19.7	27.6	20.8
勤務条件が合わない	51.6	36.5	43.1
その他	19.1	18.6	20.8
不明・無回答	7.6	7.7	4.2
合計	163.7	155.1	149.3
N	157	156	144

(9) 就労していない人の就労希望

問25-1 「問23」で「2. 仕事をしていない」とお答えの方 あなたは、仕事をしたいと思いますか。

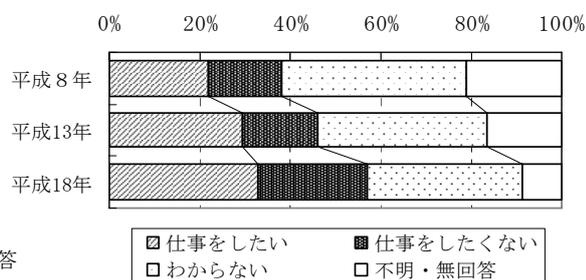
- ・ 今回調査では、「わからない」が34.5%で最も多く、次いで「仕事をしたい」が32.7%、「仕事をしたくない」が24.1%となっている。
- ・ 経年的には、「仕事をしたい」の比率が増加傾向にある。

問25-1 就労していない人の就労希望*

(単位:%)

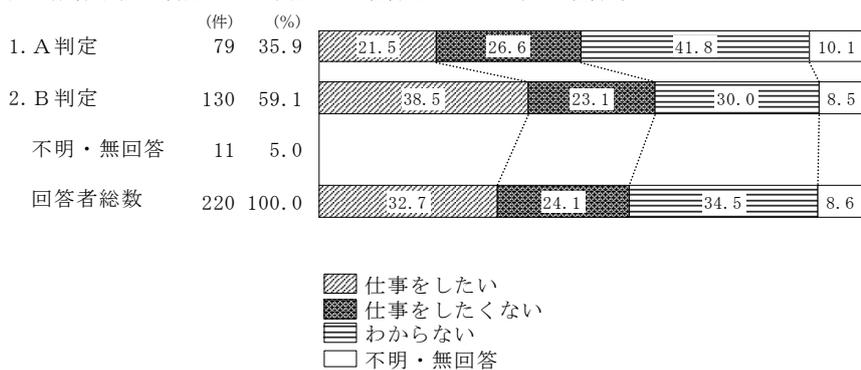
	平成8年	平成13年	平成18年
仕事をしたい	21.8	29.5	32.7
仕事をしたくない	16.3	16.4	24.1
わからない	40.9	37.4	34.5
不明・無回答	21.0	16.7	8.6
合計	100.0	100.0	100.0
N	252	281	220

* 平成18年は、「就労していない」とお答えの方が回答（「就労していたがやめた」とお答えの方は含まず）



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「わからない」の比率が多くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問25-1 就労していない人の就労希望



(10) 就労希望者の就労していない理由

問25-2-1 「問25-1」で「1. 仕事をしたい」とお答えの方) 現在, 仕事をしていない主な理由はどれですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「障害に合った仕事がないため」が38.9%で最も多く, 次いで「病気のため」が27.8%, 「その他」が26.4%, 「人間関係がうまくいかないため」が25.0%と続いている。「その他」の具体的内容としては, 「学生のため」や「自分の能力に自信が持てないため」などの記述が見られた。
- ・ 前回調査と比べて, 「その他」の比率が増加し, 「障害に合った仕事がないため」や「人間関係がうまくいかないため」の比率が減少している。

問25-2-1 就労希望者の就労していない理由〈複数回答2〉*
(単位:%)

	平成13年	平成18年
病気のため	26.5	27.8
高齢のため	3.6	8.3
家事手伝いをするため	8.4	11.1
障害に合った仕事がないため	53.0	38.9
人間関係がうまくいかないため	31.3	25.0
通勤しにくい	2.4	1.4
勤務条件が合わない	8.4	8.3
その他	16.9	26.4
不明・無回答	7.2	2.8
合計	157.8	150.0
N	83	72

* 平成18年は, 「就労していない」とお答えの方が回答
(「就労していたがやめた」とお答えの方は含まず)

(11) 就労経験者の就労をやめた理由

問26-1 「問23」で「3. 仕事をしていたがやめた」とお答えの方) やめた理由は何ですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「人間関係がうまくいかない」が 47.8%、「病気のため」が 28.3%、「解雇された」が 17.4%、「障害への理解や支援がなかった」が 15.2%などと続いている。

問26-1 就労経験者の就労をやめた理由（複数回答2）
（単位：%）

	平成18年
病気のため	28.3
通勤や職場の設備・環境が合わない	10.9
人間関係がうまくいかない	47.8
技術が生かせない	2.2
障害への理解や支援がなかった	15.2
仕事の負担が大きい	10.9
勤務条件が合わない	6.5
解雇された	17.4
その他	13.0
不明・無回答	8.7
合計	160.9
N	46

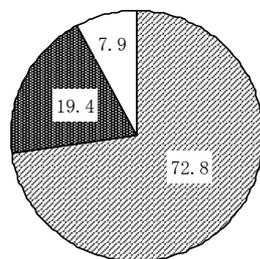
(12) 収入の有無

問27 あなたご自身には収入がありますか。

- ・ 今回調査では、「ある」が 72.8%、「ない」が 19.4%となっている。

問27 収入の有無

	平成18年
ある	72.8
ない	19.4
不明・無回答	7.9
合計	100.0
N	764



■ある ■ない □不明・無回答

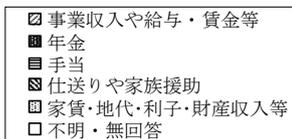
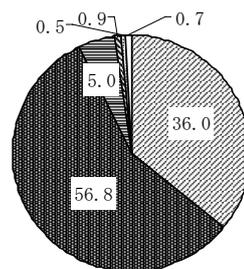
(13) 収入の種類

問28-1 「問27」で、収入が「1. ある」とお答えの方) あなたの収入の種類は次のどれにあたりますか。主なものを1つお答えください。

- ・ 「年金」が56.8%で最も多く、次いで「事業収入や給与・賃金等」が36.0%と続いている。

問28-1 収入の種類

	(単位:%)
	平成18年
事業収入や給与・賃金等	36.0
年金	56.8
手当	5.0
仕送りや家族援助	0.9
家賃・地代・利子・財産収入等	0.5
不明・無回答	0.7
合 計	100.0
N	556



(14) 収入の額

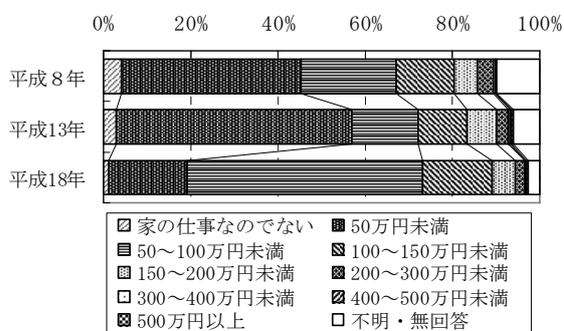
問28-2（「問27」で、収入が「1. ある」とお答えの方）あなたの収入は、おおよそどのくらいですか。年収でお答えください。

- ・ 今回調査では、「50～100万円未満」が54.1%で最も多く、次いで「50万円未満」が17.8%となっており、「100万円未満」が約7割を占めている。
- ・ 前回調査と比べて、「50万円未満」の比率が大幅に低下しており、「50～100万円未満」の比率が大幅に増加しているが、これを「100万円未満」の区分で見ると、前回調査では69.2%，今回調査では71.9%となり、「100万円未満」の比率には変化は見られない。

問28-2 収入の額

(単位:%)

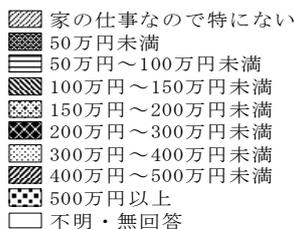
	平成8年	平成13年	平成18年
家の仕事なのでない	4.1	2.9	1.3
50万円未満	41.0	54.2	17.8
50～100万円未満	21.9	15.0	54.1
100～150万円未満	13.5	11.4	16.0
150～200万円未満	5.2	6.6	5.2
200～300万円未満	3.7	2.7	2.2
300～400万円未満	0.4	0.5	0.2
400～500万円未満	0.0	0.2	0.2
500万円以上	0.4	0.5	0.4
不明・無回答	9.7	6.1	2.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	483	441	556



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて100万円未満の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問28-2 収入の額

	(件)	(%)	
1. A判定	186	33.5	14.5, 67.7, 11.8
2. B判定	355	63.8	19.4, 47.9, 17.7, 6.8
不明・無回答	15	2.7	
回答者総数	556	100.0	17.8, 54.1, 16.0



(15) 収入の管理者

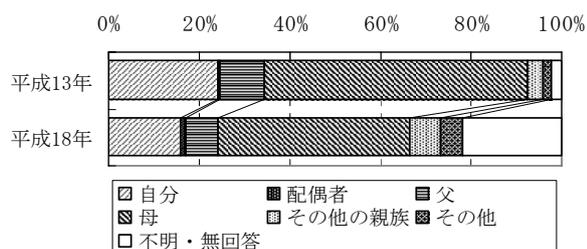
問28-3 あなたの収入は、だれが管理していますか。

- ・ 今回調査では、「母」が42.3%で最も多く、次いで「自分」が15.8%と続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「不明・無回答」の比率が増加しており、「母」や「自分」の比率は低下している。

問28-3 収入の管理者

(単位:%)

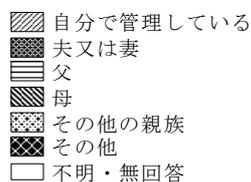
	平成13年	平成18年
自分	24.0	15.8
夫又は妻	0.5	1.0
父	9.8	7.3
母	58.3	42.3
その他の親族	3.4	6.8
その他	1.8	5.0
不明・無回答	2.3	21.7
合計	100.0	100.0
N	441	764



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「母」の比率が多く、「自分で管理している」の比率が低くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問28-3 収入の管理者

	(件)	(%)	収入の管理者 (%)						
1. A判定	251	32.9	9.6	51.4	8.4	21.9			
2. B判定	487	63.7	21.8	36.6	38.6	20.9			
不明・無回答	26	3.4							
回答者総数	764	100.0	15.8	7.3	42.3	6.8			21.7



6. 健康・医療などの状況

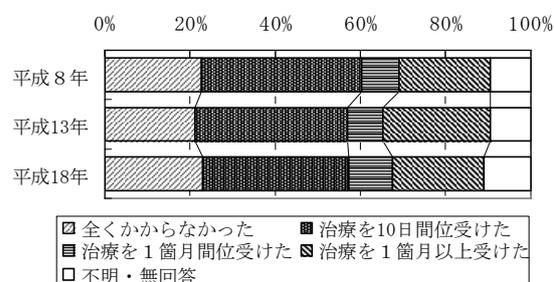
(1) 過去1年間の治療の状況

問29 あなたは、過去1年間に、病気（かぜ・腹痛・歯痛などの病気を含む）のために病院などで治療を受けたことがありますか。

- ・ 今回調査では、「治療を10日間位受けた」が34.6%で最も多く、次いで「全くかからなかった」が22.9%、「治療を1か月以上受けた」が21.5%と続いている。“治療を受けた”人は、66.0%となっている。
- ・ 経年的には、大きな変化は見られない。

問29 過去1年間の治療の状況

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
全くかからなかった	22.5	21.2	22.9
治療を10日間位受けた	37.7	35.9	34.6
治療を1か月間位受けた	8.7	8.1	9.9
治療を1か月以上受けた	21.7	25.4	21.5
不明・無回答	9.4	9.4	11.1
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



(2) 慢性的な病気の状況

問30 あなたは現在、次の慢性的な病気にかかっておられますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「かかっていない」が31.0%で最も多く、次いで「その他」が24.1%と続いている。「その他」の具体的内容として、「アレルギー症」、「てんかん」、「ぜん息」、「高脂血症」などの記述が見られた。
- ・ 前回調査と比べて大きな違いは見られない。

問30 慢性的な病気の状況（複数回答3）

	(単位:%)	
	平成13年	平成18年
高血圧症	5.3	6.2
糖尿病	4.8	6.9
慢性関節リウマチ	1.2	0.7
脳梗塞	0.7	0.5
心臓疾患	6.0	3.1
パーキンソン病	0.4	0.1
腎不全	1.1	0.4
神経痛	2.9	2.4
腰痛	6.8	6.7
肥満	6.1	6.9
その他	28.5	24.1
かかっていない	28.9	31.0
不明・無回答	26.9	27.4
合計	119.3	116.4
N	785	764

(3) 慢性的な病気の治療日数

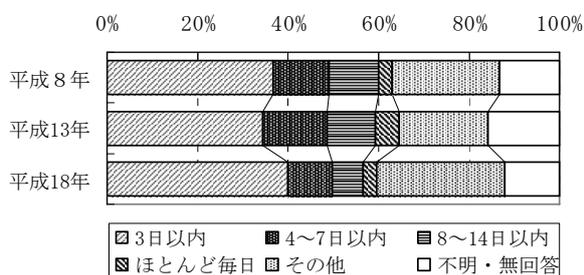
問31-1 「問30」で、「1. 高血圧症」から「11. その他」までのいずれかをお答えの方 その病気の治療のため、1か月に何日ぐらい治療を受けに行っておられますか。（延べ日数でお答えください。）

- ・ 今回調査では、「3日以内」が39.8%で最も多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて「その他」の比率が高くなっている。「その他」の内容としては、「月に数回」、「年に数回」などの記述が見られた。

問31-1 慢性的な病気の治療日数

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
3日以内	36.6	34.5	39.8
4～7日以内	12.6	14.1	10.0
8～14日以内	10.9	10.6	6.6
ほとんど毎日	2.9	5.2	3.1
その他	24.0	19.8	28.2
不明・無回答	13.1	15.8	12.2
合計	100.0	100.0	100.0
N	175	348	319



7. 社会参加の状況

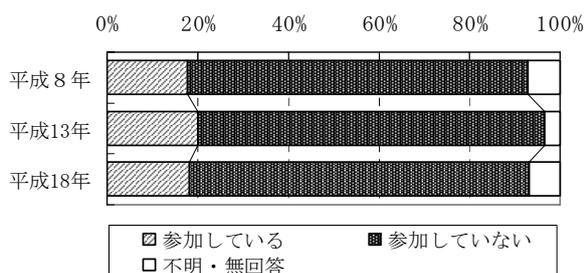
(1) スポーツや文化活動等の社会参加の状況

問32 あなたは、現在なんらかのスポーツや文化活動などに参加していますか。

- ・ 今回調査では、「参加していない」が75.3%、「参加している」が18.1%となっている。
- ・ 経年的には、大きな変化は見られない。

問32 スポーツや文化活動等の社会参加の状況
(単位:%)

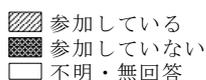
	平成8年	平成13年	平成18年
参加している	17.7	20.1	18.1
参加していない	75.0	76.4	75.3
不明・無回答	7.3	3.4	6.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「参加している」の比率が若干高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問32 スポーツや文化活動等の社会参加の状況

	(件)	(%)	社会参加の状況 (%)		
1. A判定	251	32.9	21.5	70.9	7.6
2. B判定	487	63.7	17.0	77.6	
不明・無回答	26	3.4			
回答者総数	764	100.0	18.1	75.3	6.7



(2) 社会参加している活動の内容

問33-1 （「問32」で「1. 参加している」とお答えの方）現在、参加している活動は何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「スポーツ」が63.0%で最も多く、次いで「趣味・教養」が33.3%、「その他」が16.7%、「演劇や音楽」が15.9%などとなっている。「その他」の具体的内容としては、「宗教活動」や「ボランティア活動」、「サークル等の団体活動」などの記述が見られた。
- ・ 経年的には、「趣味・教養」の比率が増加し、「旅行」の比率が低下している。

問33-1 社会参加している活動の内容〈複数回答3〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
趣味・教養	27.3	28.9	33.3
スポーツ	54.7	64.5	63.0
演劇や音楽	18.0	12.5	15.9
旅行	32.4	25.7	13.0
施設見学や展示会など	11.5	9.2	8.7
研究会・研修会など	6.5	5.9	2.9
その他	25.9	17.1	16.7
不明・無回答	8.6	5.3	8.7
合計	184.9	169.1	162.3
N	139	152	138

(3) 社会参加の際の利用施設

問33-2 「問32」で「1. 参加している」とお答えの方) 現在, 参加している活動のために次の施設を利用していますか。よく利用しているものを2つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「京都市障害者スポーツセンター」が39.9%で最も多く、次いで「その他」の30.4%、「西京極総合運動公園・地域体育館」が15.9%などと続いている。「その他」の具体的内容としては「府立体育館」や「YMCA」,「福祉会館」などの記述が見られた。
- ・ 前回調査と比べて「京都市障害者スポーツセンター」の比率が低下している。

問33-2 社会参加の際の利用施設〈複数回答2〉

	(単位:%)	
	平成13年	平成18年
京都市身体障害者福祉会館	8.6	7.2
京都ライトハウス	0.0	0.0
京都市聴覚言語障害センター	0.0	2.9
京都市障害者スポーツセンター	48.7	39.9
京都市障害者教養文化・体育会館*	3.3	1.4
西京極総合運動公園・地域体育館	11.2	15.9
近くの公園, 学校のグラウンド	9.2	13.8
地域の文化会館	3.9	11.6
その他	28.9	30.4
不明・無回答	18.4	12.3
合計	132.2	135.5
N	152	138

* 平成13年は「京都市勤労身体障害者教養文化体育施設」

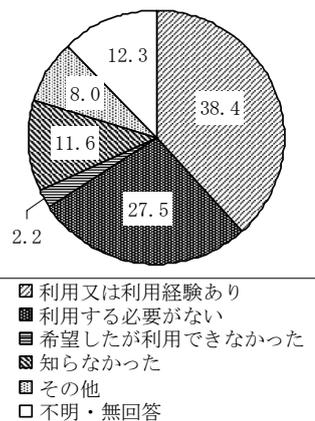
(4) ガイドヘルパーの利用状況

問33-3 「問32」で「1. 参加している」とお答えの方) 現在, 参加している活動のために外出を支援するサービス(ガイドヘルパー)を利用していますか。

- ・ 「利用又は利用経験あり」が 38.4%, 「利用する必要なし」が 27.5%, 「制度を知らなかった」が 11.6%と続いている。

問33-3 ガイドヘルパーの利用状況

	(単位:%) 平成18年
利用又は利用経験あり	38.4
利用する必要なし	27.5
希望したが利用できなかった	2.2
制度を知らなかった	11.6
その他	8.0
不明・無回答	12.3
合 計	100.0
N	138



(5) 社会参加していない理由

問34-1（「問32」で「2. 参加していない」とお答えの方）参加していない理由はどのようなことですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「参加する仲間がいない」が40.5%で最も多く、次いで「その他」の21.2%、「時間的なゆとりがない」が20.0%、「経済的なゆとりがない」が19.1%と続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「経済的なゆとりがない」や「参加する仲間がいない」、「高齢」などの比率が増加する一方で、「外出が困難」や「介助者がいない」、「よい指導者がいない」などの比率が減少している。

問34-1 社会参加していない理由（複数回答3）

（単位：%）

	平成8年	平成13年	平成18年
時間的なゆとりがない	19.0	18.7	20.0
経済的なゆとりがない	10.0	13.3	19.1
利用できる施設が少ない	15.3	10.9	10.3
外出が困難	14.9	16.1	8.9
介助者がいない *1	11.7	12.8	8.5
参加する仲間がいない	40.2	36.2	40.5
よい指導者がいない *2	17.3	14.7	6.1
周りの人に迷惑をかける	12.1	10.9	10.3
周りの人の眼が気になる	7.0	10.6	11.3
高齢	3.6	4.3	10.4
病気	14.4	15.1	10.3
その他	13.9	16.6	21.2
不明・無回答	14.3	12.1	11.3
合計	193.7	192.3	188.2
N	589	577	575

*1 平成18年以外は「介助者が得にくい」

*2 平成18年以外は「適切な指導者がいない」

- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて、「利用できる施設が少ない」、「外出が困難」、「介助者がいない」、「周りの人に迷惑をかける」などの比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問34-1 社会参加していない理由（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：構成員比（%）

療育手帳の判定	問6	問34-1 社会参加していない理由（複数回答3）												不明・無回答	回答者総数
		1. 時間的なゆとりがない	2. 経済的なゆとりがない	3. 利用できる施設が少ない	4. 外出が困難	5. 介助者がいない	6. 参加する仲間がいない	7. よい指導者がいない	8. 周りの人に迷惑をかける	9. 周りの人の眼が気になる	10. 高齢	11. 病気	12. その他		
療育手帳の判定	1. A判定	16 9.0	25 14.0	24 13.5	33 18.5	41 23.0	57 32.0	6 3.4	29 16.3	15 8.4	28 15.7	20 11.2	41 23.0	16 9.0	178 100.0
	2. B判定	93 24.6	83 22.0	35 9.3	13 3.4	8 2.1	170 45.0	28 7.4	29 7.7	47 12.4	27 7.1	37 9.8	78 20.6	48 12.7	378 100.0
	不明・無回答	6 31.6	2 10.5	0 0.0	5 26.3	0 0.0	6 31.6	1 5.3	1 5.3	3 15.8	5 26.3	2 10.5	3 15.8	1 5.3	19 100.0
	回答者総数	115 20.0	110 19.1	59 10.3	51 8.9	49 8.5	233 40.5	35 6.1	59 10.3	65 11.3	60 10.4	59 10.3	122 21.2	65 11.3	575 100.0

(6) 今後の社会参加希望の有無

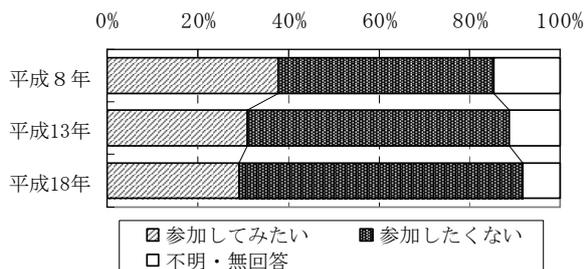
問34-2 「問32」で「2. 参加していない」とお答えの方 あなたは、今後、何らかのスポーツや文化活動に参加してみたいと思いますか。

- ・ 今回調査では、「参加したくない」が62.8%、「参加してみたい」が29.0%となっている。
- ・ 経年的には、「参加したくない」の比率が増加傾向にある。

問34-2 今後の社会参加希望の有無

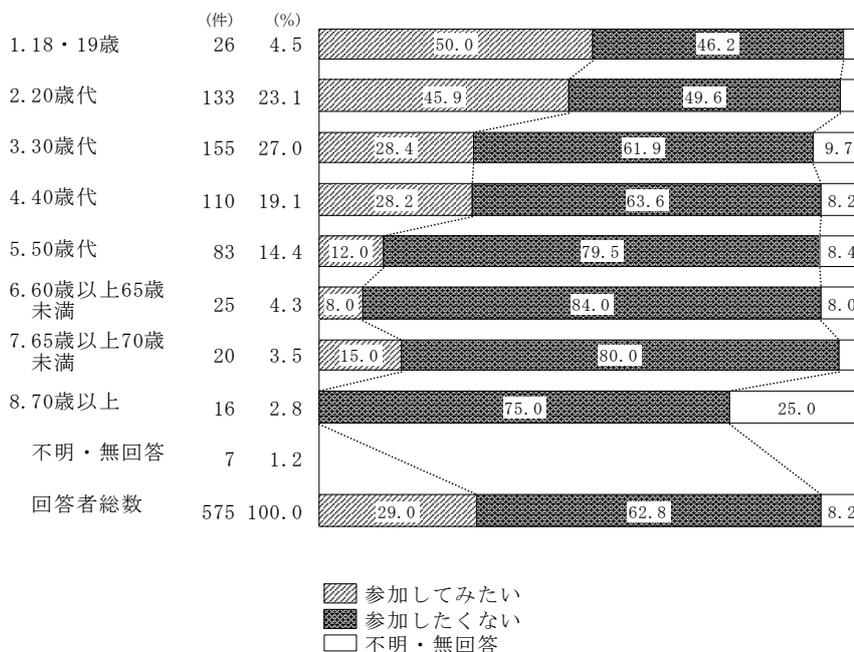
(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
参加してみたい	37.7	30.8	29.0
参加したくない	47.5	57.7	62.8
不明・無回答	14.8	11.4	8.2
合計	100.0	100.0	100.0
N	589	577	575



- ・ 年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれて、「参加してみたい」の比率は低下傾向にある。

問1 年齢 × 問34-2 今後の社会参加希望の有無



(7) 社会参加してみたい活動の種類

問34-3-1 「問34-2」で「1. 参加してみたい」とお答えの方) 参加してみたい活動は何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「スポーツ」が58.7%、「旅行」が55.1%、「演劇や音楽」が46.7%、「趣味・教養」が46.1%などと続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「趣味・教養」の比率が増加し、「演劇や音楽」,「旅行」などの比率が低下している。

問34-3-1 社会参加してみたい活動の種類〈複数回答3〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
趣味・教養	36.0	41.0	46.1
スポーツ	55.4	59.6	58.7
演劇や音楽	40.5	50.6	46.7
旅行	59.0	62.9	55.1
施設見学や展示会など	14.4	14.6	13.8
研究会・研修会など	3.6	4.5	3.6
その他	3.2	0.0	5.4
不明・無回答	3.6	1.7	0.0
合計	215.7	234.8	229.3
N	222	178	167

8. 災害時の対応

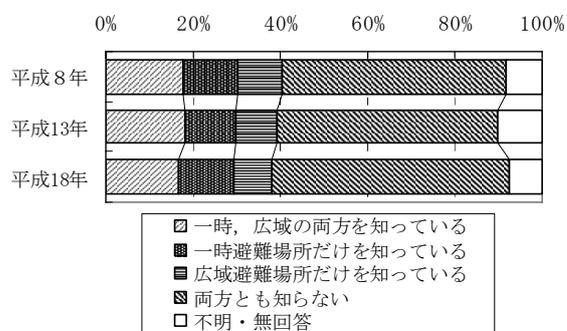
(1) 避難場所の認知

問35 あなたは、火事や地震などの災害時に避難する場所として、あなたの地域に「一時避難場所」や「広域避難場所」があることを知っていますか。

- ・ 今回調査では、「両方とも知らない」が 54.2%で最も多く、次いで、「一時、広域の両方を知っている」が 16.8%、「一時避難場所だけを知っている」が 12.7%などとなっている。
- ・ 経年的には、大きな変化は見られない。

問35 避難場所の認知

	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
一時、広域の両方を知っている	17.6	18.3	16.8
一時避難場所だけを知っている	12.6	11.5	12.7
広域避難場所だけを知っている	10.3	9.4	8.6
両方とも知らない	51.2	50.7	54.2
不明・無回答	8.3	10.1	7.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



(2) 災害時の単独避難の可否

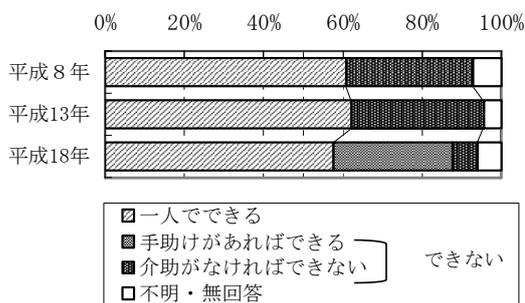
問36 あなたは、災害時、家の外に逃げるができますか。

- ・ 今回調査では、「一人でできる」が57.6%、「手助けがあればできる」が30.0%、「介助がなければできない」が6.4%となっている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて「一人でできる」の比率が若干低下しており、「一人でできない(手助けがあればできる+介助がなければできない)」の比率が微増傾向にある。

問36 災害時の単独避難の可否 *

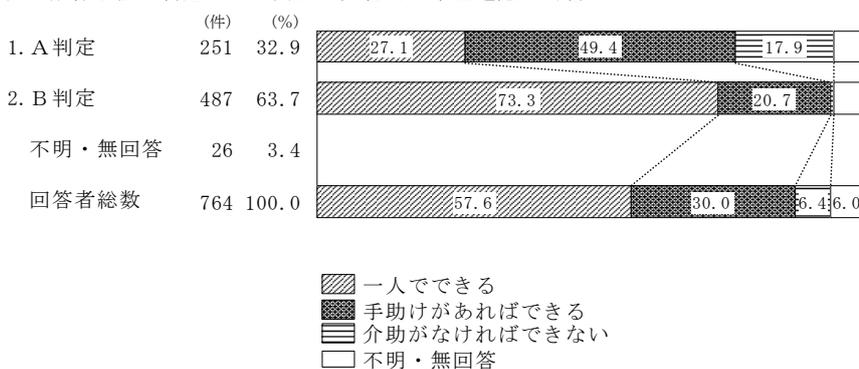
	(単位:%)		
	平成8年	平成13年	平成18年
一人でできる	60.8	62.1	57.6
手助けがあればできる	32.1	33.4	30.0
介助がなければできない			6.4
不明・無回答	7.1	4.5	6.0
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764

* 平成18年以外は「できる」「できない」の二択



- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「一人ではできない(手助けがあればできる+介助がなければできない)」の比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問36 災害時の単独避難の可否



(3) 自主防災組織の認知

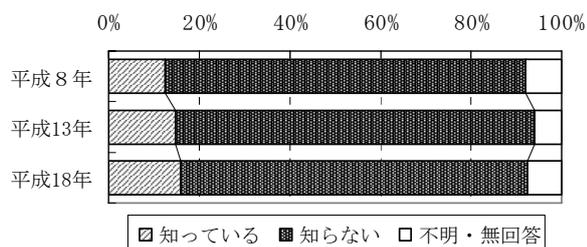
問37 災害に巻き込まれた時、近所の人同士で助け合うことを目的とした「自主防災組織」が市内の各地域にあることを、あなたは知っていますか。

- ・ 今回調査では、「知っている」が16.0%、「知らない」が76.3%となっている。
- ・ 経年的には、「知っている」の比率が微増し、「知らない」の比率が微減しており、認知度は上昇している。

問37 自主防災組織の認知

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
知っている	12.6	14.6	16.0
知らない	79.4	79.2	76.3
不明・無回答	8.0	6.2	7.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	785	755	764



(4) 自主防災組織への参加状況

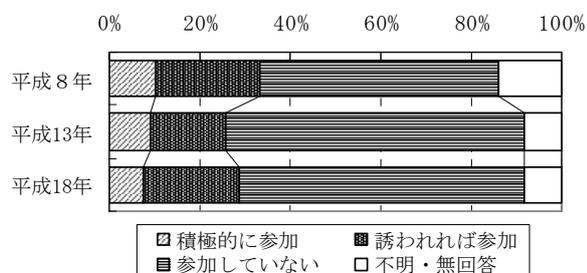
問38-1 (「問37」で「1. 知っている」とお答えの方) あなたは、自主防災組織の活動に参加されていますか。

- ・ 今回調査では、「参加していない」が63.1%で最も多く、次いで「誘われれば参加」が21.3%、「積極的に参加」が7.4%と続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「誘われれば参加」の比率が増加し、「参加していない」の比率が微減している。

問38-1 自主防災組織への参加状況

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
積極的に参加	10.1	9.1	7.4
誘われれば参加	23.2	16.4	21.3
参加していない	52.5	66.4	63.1
不明・無回答	14.1	8.2	8.2
合計	100.0	100.0	100.0
N	99	110	122



(5) 災害時の不安

問39 あなたは、災害に巻き込まれた時、どのようなことに不安を感じますか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「初期消火ができない」が42.0%で最も多く、次いで「自分で避難ができない」が24.7%、「特にない」が23.4%と続いている。

問39 災害時の不安〈複数回答2〉

(単位:%)

	平成18年
自分で避難ができない	24.7
初期消火ができない	42.0
医療器具の使用・服薬ができなくなる	9.6
避難所での滞在	14.3
情報の取得	16.0
その他	10.6
特にない	23.4
不明・無回答	10.7
合 計	151.3
N	764

9. 福祉施設の利用及び福祉施策への要望など

(1) 悩みごとの相談先

問40 あなたは、障害のことなどで悩んだり心配した時、また福祉サービスに関する情報を知りたい時、どのようなところに相談されますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では「福祉事務所など市の専門機関」が 62.2%で最も多く、次いで「家族・知人」が 45.8%、「知的障害者相談員」が 16.9%、「医療機関」が 16.2%などと続いている。
- ・ 前回調査と比べて、「障害者地域生活支援センター」の比率が増加している。

問40 悩みごとの相談先〈複数回答3〉

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
福祉事務所など市の専門機関	68.2	63.4	62.2
障害のある市民団体	9.0	7.5	5.0
民生委員・児童委員	7.5	6.5	3.4
知的障害者相談員	25.2	15.4	16.9
社会福祉施設職員	12.0	10.9	10.6
障害者地域生活支援センター*	—	3.7	12.2
ホームヘルパー	2.3	2.3	4.8
ボランティア	2.8	2.4	1.8
学校・会社	—	8.3	7.6
医療機関	—	17.7	16.2
家族・知人	53.1	45.2	45.8
その他	9.8	8.5	8.6
不明・無回答	13.6	13.2	10.7
合計	203.5	205.0	205.9
N	785	755	764

* 平成13年は「障害者生活支援センター」2.0%と「地域生活支援センター」1.7%の合算

(2) 今後の相談内容

問41 今後どのような相談をしたいと思いますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「医療・健康のこと」が42.0%、「福祉サービスの利用のこと」が35.1%、「仕事のこと」が30.6%、「日常生活の悩みのこと」が23.4%、「収入のこと」が21.1%などとなっている。
- ・ 前回調査と比べて「収入のこと」の比率が増加している。

問41 今後の相談内容（複数回答3）

（単位：%）

	平成8年	平成13年	平成18年	
医療・健康のこと	35.3	44.8		42.0
療育・教育のこと	10.6	10.5		8.8
仕事のこと	29.0	27.7		30.6
収入のこと	18.9	16.6		21.1
福祉サービスの利用のこと	—	32.5	35.1	46.0
介助のこと	15.5	13.6	10.9	
日常生活の悩みのこと	25.4	23.2		23.4
災害時の避難方法などのこと	10.6	6.2		8.0
財産の管理や利用について	9.0	10.1		11.4
その他	8.4	6.5		8.1
不明・無回答	30.6	19.2		16.4
合計	193.3	210.9		215.7
N	785	755		764

(3) 利用を希望する施設・障害者施策

問42 あなたは、どのような施設や障害者施策の利用を希望されますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 「障害者地域生活支援センター」が32.6%で最も多く、次いで「老人ホームなどの施設」が28.5%、「ショートステイ」が19.9%などと続いている。

問42 利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）
（単位：%）

	平成18年
障害者地域生活支援センター	32.6
ホームヘルプサービス	10.9
ショートステイ	19.9
ガイドヘルパー	12.4
重度障害者等包括支援	3.9
デイサービス	6.2
就労移行支援、職業訓練校	8.0
授産施設、福祉工場、共同作業所	15.4
自立訓練を行う施設	7.7
施設入所支援	12.4
ケアホーム、福祉ホーム等	15.7
重症心身障害児(者)施設	3.0
公営住宅	9.8
老人ホームなどの施設	28.5
スポーツ施設	5.2
サークル活動、文化活動などのできる施設	7.3
その他	4.8
不明・無回答	19.9
合計	223.8
N	764

- ・ 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「ショートステイ」や「ガイドヘルパー」、「施設入所支援」などの比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問42 利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）

問6	問42	利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）									
		1. 障害者地域生活支援センター	2. ホームヘルプサービス	3. ショートステイ	4. ガイドヘルパー	5. 重度障害者等包括支援	6. デイサービス	7. 就労移行支援、職業訓練校	8. 授産施設、福祉工場、共同作業所	9. 自立訓練を行う施設	10. 施設入所支援
療育手帳の判定	1. A判定	65 25.9	33 13.1	96 38.2	55 21.9	24 9.6	23 9.2	5 2.0	45 17.9	14 5.6	63 25.1
	2. B判定	176 36.1	49 10.1	52 10.7	40 8.2	5 1.0	22 4.5	54 11.1	72 14.8	44 9.0	32 6.6
	不明・無回答	8 30.8	1 3.8	4 15.4	0 0.0	1 3.8	2 7.7	2 7.7	1 3.8	1 3.8	0 0.0
	回答者総数	249 32.6	83 10.9	152 19.9	95 12.4	30 3.9	47 6.2	61 8.0	118 15.4	59 7.7	95 12.4

上段：実数(件)
下段：構成比(%)

問6	問42	利用を希望する施設・障害者施策（複数回答3）							17. 不明・無回答	18. 回答者総数
		11. ケアホーム、福祉ホーム等	12. 重度障害が重複する方が、治療や	13. 公営住宅	14. 老人ホームなどの施設	15. スポーツ施設	16. サークル活動、文化活動などのできる施設	17. その他		
療育手帳の判定	1. A判定	47 18.7	14 5.6	17 6.8	76 30.3	4 1.6	13 5.2	4 1.6	33 13.1	251 100.0
	2. B判定	72 14.8	8 1.6	58 11.9	140 28.7	36 7.4	42 8.6	31 6.4	106 21.8	487 100.0
	不明・無回答	1 3.8	1 3.8	0 0.0	2 7.7	0 0.0	1 3.8	2 7.7	13 50.0	26 100.0
	回答者総数	120 15.7	23 3.0	75 9.8	218 28.5	40 5.2	56 7.3	37 4.8	152 19.9	764 100.0

(4) 福祉施策への要望

問43 あなたにとって、今後特に必要とされるもの、または強く望みたいことがらがありますか。次のうちから最も近いものを5つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「公的年金等所得保障の充実」が 54.3%、「障害のある人に理解と関心をもつ」が 34.6%、「医療費軽減等」が 33.1%、「障害のある人の権利を守る施策」と「障害のある人の雇用促進」が共に 27.5%などと続いている。
- ・ 経年的には、「医療費軽減等」の比率が増加し、「障害のある人への理解と関心」、「バリアフリーのまちづくり」などの比率が低下している。

問43 福祉施策への要望（複数回答5）

(単位:%)

	平成8年	平成13年	平成18年
専門的な機能回復訓練	4.8	4.6	4.1
医師等による訪問指導	9.7	8.7	7.6
医療費軽減等	26.1	27.8	33.1
障害者医療等医療制度の拡充	25.4	23.3	23.8
介助体制の充実	13.4	11.7	12.2
金銭管理や福祉サービス利用の支援*1	—	—	12.8
ガイドヘルパー等の充実	—	17.0	17.1
障害状況に応じた職業訓練	13.2	12.1	12.2
障害のある人の雇用促進	32.5	28.1	27.5
公的年金等所得保障の充実	48.3	55.1	54.3
障害のある人に理解と関心をもつ	43.6	40.1	34.6
各種の相談事業の充実	11.6	8.5	6.8
バリアフリーのまちづくり	18.3	16.8	10.3
スポーツ、文化活動等に参加したい	13.4	9.5	10.6
公共交通機関の利用のしやすさ*2	30.4	25.6	—
障害のある人の権利を守る施策	—	27.5	27.5
家族のリフレッシュ事業	—	26.0	20.8
その他	5.1	3.6	4.1
不明・無回答	23.4	13.8	20.2
合計	319.2	359.7	339.5
N	785	755	764

*1 平成18年追加項目

*2 平成18年は項目から削除

第5章 知的障害者生活状況調査（18歳以上）結果

- 療育手帳の判定別では、「A判定」は「B判定」に比べて「介助体制の充実」や「ガイドヘルパー等の充実」などの比率が高くなっている。

問6 療育手帳の判定 × 問43 福祉施策への要望（複数回答5）

問43		福祉施策への要望（複数回答5）									
問6		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.
		専門的な機能回復訓練	医師等による訪問指導	医療費軽減等	障害者医療等医療制度の拡充	介助体制の充実	金銭管理や福祉サービス利用の支援	ガイドヘルパー等の充実	障害状況に応じた職業訓練	障害のある人の雇用促進	公的年金等所得保障の充実
療育手帳の判定	1. A判定	10 4.0	21 8.4	51 20.3	65 25.9	57 22.7	36 14.3	89 35.5	22 8.8	48 19.1	154 61.4
	2. B判定	21 4.3	35 7.2	195 40.0	114 23.4	33 6.8	58 11.9	40 8.2	71 14.6	160 32.9	252 51.7
	不明・無回答	0 0.0	2 0.0	7 26.9	3 11.5	3 11.5	4 15.4	2 7.7	0 0.0	2 7.7	9 34.6
	回答者総数	31 4.1	58 7.6	253 33.1	182 23.8	93 12.2	98 12.8	131 17.1	93 12.2	210 27.5	415 54.3

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問43		福祉施策への要望（複数回答5）								回答者総数
問6		11.	12.	13.	14.	15.	16.	17.		
		障害のある人に理解と関心をもつ	各種の相談事業の充実	バリアフリーのまちづくり	スポーツ文化活動等に参加したい	障害のある人の権利を守る施策	家族のリフレッシュ事業	その他	不明・無回答	
療育手帳の判定	1. A判定	95 37.8	4 1.6	32 12.7	19 7.6	90 35.9	81 32.3	6 2.4	42 16.7	251 100.0
	2. B判定	163 33.5	46 9.4	46 9.4	62 12.7	118 24.2	73 15.0	25 5.1	99 20.3	487 100.0
	不明・無回答	6 23.1	2 7.7	1 3.8	0 0.0	2 7.7	5 19.2	0 0.0	13 50.0	26 100.0
	回答者総数	264 34.6	52 6.8	79 10.3	81 10.6	210 27.5	159 20.8	31 4.1	154 20.2	764 100.0

10. 家族調査

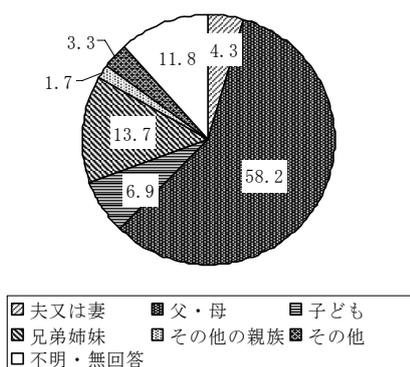
(1) 本人との関係

問45 ご本人との関係をお答えください。

- ・ 「父・母」が58.2%と最も多く、次いで、「兄弟姉妹」が13.7%と続いている。

問45 本人との関係

	(単位:%) 平成18年
夫又は妻	4.3
父・母	58.2
子ども	6.9
兄弟姉妹	13.7
その他の親族	1.7
その他	3.3
不明・無回答	11.8
合計	100.0
N	764



(2) 家族と同居できない場合の居住地

問46 ご本人が、ご家族と一緒に暮らせなくなったとき、次にあげる生活の場のうち、ふさわしいと思われるのは、どれですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「老人ホームなどの施設」が40.4%で最も多く、次いで「共同生活を行い、介護や生活支援を行う施設」が35.1%、「自宅」が31.5%、「介護を受けながら生活できる施設」が31.3%などと続いている。

問46 家族と同居できない場合の居住地（複数回答2）

	(単位:%) 平成18年
自宅	31.5
障害のある人に配慮した住宅（公営住宅）	14.1
共同生活を行い、介護や生活支援を行う施設	35.1
介護を受けながら生活できる施設（施設入所支援）	31.3
老人ホームなどの施設	40.4
その他	3.5
不明・無回答	12.2
合計	168.2
N	764

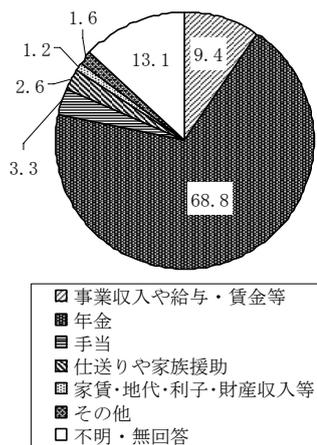
(3) 家族と同居できない場合の収入

問47 ご家族と一緒に暮らせなくなったときの、ご本人の主な収入は何ですか。

- ・ 「年金」による収入が68.8%で最も多くなっている。これ以外の収入はいずれも10%未満となっている。

問47 家族と同居できない場合の収入
(単位:%)

	平成18年
事業収入や給与・賃金等	9.4
年金	68.8
手当	3.3
仕送りや家族援助	2.6
家賃・地代・利子・財産収入等	1.2
その他	1.6
不明・無回答	13.1
合計	100.0
N	764



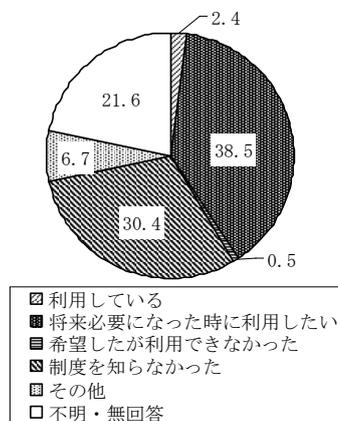
(4) 成年後見制度の利用状況

問48 成年後見制度についておたずねします。現在ご本人は、成年後見制度を利用されていますか。

- ・ 「将来必要になった時に利用したい」が38.5%、「制度を知らなかった」が30.4%となっており、「利用している」はわずかに2.4%に過ぎない。

問48 成年後見制度の利用状況
(単位:%)

	平成18年
利用している	2.4
将来必要になった時に利用したい	38.5
希望したが利用できなかった	0.5
制度を知らなかった	30.4
その他	6.7
不明・無回答	21.6
合計	100.0
N	764



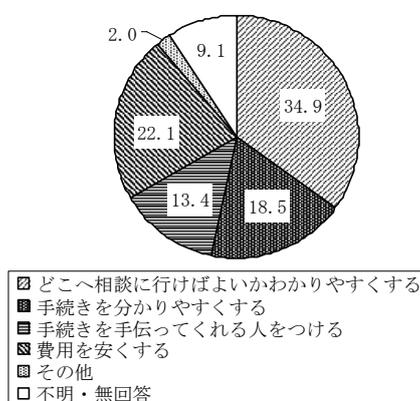
(5) 成年後見制度を利用しやすくする方策

問49-1 「問48」で成年後見制度について「2. 将来、必要になった時に利用したい」「3. 利用を希望したが利用できなかった」とお答えの方) どのようにすれば利用しやすくなると思いますか。

- ・ 「どこへ相談に行けばよいかわかりやすくする」が34.9%、「費用を安くする」が22.1%、「手続きを分かりやすくする」が18.5%、「手続きを手伝ってくれる人をつける」が13.4%と続いている。

問49-1 成年後見制度を利用しやすくする方策

(単位:%)	
	平成18年
どこへ相談に行けばよいかわかりやすくする	34.9
手続きを分かりやすくする	18.5
手続きを手伝ってくれる人をつける	13.4
費用を安くする	22.1
その他	2.0
不明・無回答	9.1
合計	100.0
N	298



(6) 地域福祉権利擁護事業の利用状況

問50 地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助事業）についておたずねします。現在ご本人は、地域福祉権利擁護事業を利用されていますか。

- ・ 「制度を知らなかった」が36.9%で最も多く、次いで「将来必要になった時に利用したい」が27.4%などと続いている。「利用している」は、わずか3.9%となっている。

問50 地域福祉権利擁護事業の利用状況

(単位:%)	
	平成18年
利用している	3.9
将来必要になった時に利用したい	27.4
希望したが利用できなかった	0.5
制度を知らなかった	36.9
その他	5.2
不明・無回答	26.0
合計	100.0
N	764

